

DURC

WILD ROVER CREW vol.032



2023.11-2024.11

CONTENTS

02 **特集** 女子クォドルプル
全日本大学ローイング選手権大会優勝！
切磋琢磨で有終の美！



08 全体目標 2025 年 『自主自立』

10 **戦績ハイライト**

- 10. 西日本選手権 11. 朝日レガッタ
- 12. 全日本ローイング選手権大会
- 13. 関西選手権競漕大会
- 14. 全日本大学ローイング選手権大会
- 15. 全日本新人ローイング選手権大会
- 16. 2024年度全戦績



20 **OB・OGインタビュー**

- 20. 内藤 竜一 先輩(平成10年卒)
- 24. 落合 航大 先輩(令和5年卒)



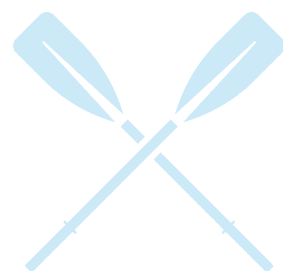
28 **卒業生の言葉**

32 2025年度 現役部員紹介

38 コーチングスタッフ紹介

42 令和5年度
ボート部にご支援いただいた皆さま

44 編集後記



Lumiebre

AEHANDKERCHIEF CO., LTD. tel: 0795-48-2031 <http://www.lumiebre.jp>

特集 女子クォドルプル 全日本大学ローイング選手権大会優勝!

切磋琢磨で 有終の美!



この度の全日本大学ローイング選手権大会では、女子の花形種目であるクォドルプルで見事優勝を果たすことができました。今回は優勝したクルーに率直な気持ちや、どのような1年であったのかをインタビューしました。



― 優勝した瞬間の率直な気持ちを教えてください。

清水：優勝した瞬間は、本当に信じられない感じでした。

落合：嬉しさと、とりあえずびっくりしたっていうのが率直な気持ちです。

三苦：夢みたいなきもちでした。本当に信じられないというか、本当にこれは現実なのかと疑いたくなるくらい嬉しかったです。

東野：私もまさか優勝すると思わなかったもので、嬉しい気持ちよりも、驚きの方がありました。

― インカレ優勝を目指す練習で、大変だったこと、工夫したことなどはありますか。

清水：個人的なことだと、関西選手権が終わるまでずっとスリーブに乗っていて、久しぶりのスカル、しかもクォードだったので、まずスカルの漕ぎ方に戻るのが苦労しました。全体的な面で言うと、富山合宿の時に、みんなで結構試行錯誤しました。クルーの完成度も上がっていたのですが、

シートチェンジもたくさんしたりとかして、みんなでリズム感を共有したりもしました。いきなりではなくて、少しずつ少しずつ良くなっていく感じでした。戸田に入ってからみんなでもたくさん調整して、決勝でやっと完成しきった感覚でしたね。

落合：彩夏が言ってくれたように、シートがなかなか決まらなくて、富山合宿の時もシートをコロコロ変えた感じでした。みんなの漕ぎを合わせる、漕ぎやすいリズムを見つけるのがすごく難しく、最後の最後まで試行錯誤をしながら紘志さんに相談したりしていました。戸田に入ってからみんな焦りとかもあったりして、納得のいく漕ぎというのが見つけれなかったけど、本番になってみんなの強みが出て、最終的にはちゃんとまとまったので良かったです。

三苦：私は3人の先輩方と比べて、技術が全然劣る状態からスタートして、自分の漕ぎ方、その癖をなくしていくところから始まりました。富山合宿で先輩方にたくさん教えてもらって、変わったところはかなりあったのですが、やっぱり戸田に入ってから、自分の漕ぎがまだ完成できていない、まだ技術が到達していないという感覚はすごくありました。ただ、その中で、やっぱりクルーの一員として自分ができることは何かと思った時に、声を出すとかを頑張っていました。リズム感を合わせ





るために「ソウッ!」と言ってたんですが、リズムを取るために、自分で声を出すということがクルーとしてもちょっと良かったところではないかと思っています。

東野：瀬田でもいるいるな意見を共有し合って、少しずつ良くなってきたところもあったのですが、特に富山合宿が良くなっていった時期だったと思います。インカレに入っても、気を緩めずに、常に個人個人が思うことを共有し合って、成長していく気持ちがあったことが、優勝できた秘訣だったのかなと思います。

— 実際、優勝できる自信があったのか、それは何パーセントくらいだったのかを教えてください。

清水：優勝は正直みんなはどう思っていたか分からないけど、私はほとんど見えていませんでした。インカレの準決勝のタイム順で言う今年は5位だったんです。それで、私と陽乃花が1年生の時にクオードで出た時も5位で、3年前と同じ順位は嫌だなと思いつつ決勝に臨んでいた感じでした。パーセントで言うとはば0だと思っていて、でもやっぱりメダルは欲しいし、3位には食い込みたいという気持ちは結構ありました。

落合：準決勝のタイム的に全然優勝ができるタイムではなかったし、実際に他の出場大学を見ても、優勝常連校やメダルを毎年取っているところばかりだったので、口で

に挑めた気がします。

— 他大学の中で、特に強敵だと感じた大学は。

清水：富山国際と一緒に合宿も行っていたので、やっぱり勝ちたい想いは強かったです。仙台には強すぎて、勝てるとすら思っていなかったですね。

東野：そうそう、敵にもならないんじゃないかって。

落合：速すぎる、みたいな感じあったよね。

清水：あとは明治と中央が自分たちと、どっこいどっこいかなという感じで、そこに勝てればメダルは近いと考えていて、決勝の前は明治、中央にはなんとか勝ちたいなと思っていました。

— 一番感謝を伝えたい存在は誰ですか。

清水：やっぱり一緒に乗ってくれたメンバーには一緒に戦ってくれてありがとうという感謝の気持ちでいっぱいです。長い時間一緒に練習したり、いろいろ悩んだりしている中で、最後にはいい成績が残せたのは本当にこのメンバーのおかげだと思います。他にも、遠くから応援しに来てくれた両親、コーチ陣にも感謝を伝えたいです。

落合：乗ってたメンバーと両親とにかく感謝を伝えたいです。このクオードのメンバーじゃなかったら絶対に勝てなかったと思うので、とりあえず感謝しかないという気持ちです。最後の最後に勝たせてくれてありがとうと伝えたいです。あとはやっ

は優勝したいとは言っていたものの、実際にできるとは全然思っていませんでした。とりあえずメダルを獲得できたらいいなと思っていましたね。1年の時よりいい戦績だったらいいなという気持ちでした。



三苦：優勝はもちろんしたかったのですが、それを自分で言えるほどの実力や、余裕が自分の中にはなかったです。先輩と絶対優勝したいって気持ちはあって、そのためには私がそのベストパフォーマンスを出さ

なければいけないという気持ちが、正直、全面的にありました。なので、優勝を考えるよりも、自分が今できるベストパフォーマンスを絶対に尽くさなければっていう気持ちの方が強かった感じです。

東野：私は、優勝できるとは全く思っていないで、したいという気持ちはあったのですが、なんかメダル取れたらいいなぐらいに思っていて。やっぱり去年優勝していた仙台大学とか、他にも準決勝の時にタイムでも負けていた大学がいることも踏まえて、どうしても勝てる要素が全く見つからなかったです。直前にオールの長さも変えたりしたので、やっぱりうまくいか、いかにあえろ決勝だから、もう全力でやるしかないという感じでした。

— 試合前に緊張はしますか。その解し方も教えてください。

清水：めっちゃ緊張します。なので、毎回「落ち着いて、丁寧にしつかり一本一本」とか自分で唱えています。あとは大体一緒に乗っていた花とか、インカレで言うところ、陽乃花に「大丈夫やって！頑張ろう！」と声をかけてもらって、落ち着かせてもらっていました。

落合：決勝の時はちょっと緊張しました。ただ、みんながいるので、そこまで不安感も緊張もしなかったです。

東野：私は、彩夏さんと詩葉ちゃんがすご





ぱり、両親に感謝を伝えたいと思います。中学からボート始めてずっと応援してくれて、応援してくれる人がいると思えるから、自分もその期待に添えて勝ちたいと思えました。優勝したことがなかったから、優勝のメダルトロフィーを両親に見せたいという気持ちが強くて、これまで頑張れて来ましたね。

三苦：やっぱり一緒に乗ってくださった先輩方、そして同志社大学の先輩方に感謝したいと思っています。自分は周り比べて技術が劣る中で、自分を引っ張ってくださった、こまで連れてきてくれたのは3人の先輩方だと思っています。富山合宿でも、私のスキエルゴの練習にも付き合ってくれたり、エア漕ぎも全然できていなかったんですけど、マンツーマンで教えてくださった、自分を高めることができたので、本当に感謝しかありません。それに、クルーのメンバー以外の先輩方も、頑張ってるなと声をかけてくださって、それが支えになっていました。

東野：私もクルーの3人に一番感謝を伝えたいと思います。こんなにくまぬしい3人の背中ってないなって思っていました。パウだから感じる事ができるけれど、すごく心強かったです。うまくいかない時も誰ひとり投げ出すことがなくて、4回生の陽乃花さんと彩夏さんにとって絶対に良い引退レース、詩葉ちゃんの初インカレを

良いレースにしたいという気持ちがすごく大きかったです。それに、紘志さんと大越さんにも支えていただいていたばかりいて、感謝しかありません。

―（清水と落合に）4年間を振り返ってのラスト1年はどんな1年でしたか。

清水：私は、入部してからずっと日本一を目標にしてたんです。だけど、3年生まではあと一歩のところまでしかいくことができなかった、ずっと勝ち切れずに終わっていました。4年生になってからは、全日本でもインカレでもどんな種目でもいいから、とりあえず日本一を取りたいという気持ちで、貪欲に、がむしゃらにがんばっていた感じでした。全日本では、私のわがままを通していただいて、花と一緒に軽量級ペアで挑ませてもらいました。今、一緒に乗ってもらってるんだから、絶対日本一を取らなきゃいけないという気持ちで挑んで、優勝できた時は、とにかく嬉しいという気持ちしかしなかったです。そして、最後のレースであるインカレでは、花形種目のクオードで、しかも久しぶりに陽乃花と一緒に乗って優勝することができたことが嬉しかったです。優勝はもちろん目指していたけど、心の中では優勝できるとは思っていなくて、でも最後だからやり切ったといえる状態で終わりたいなという気持ちが大変大きかったです。それで、みんなで切磋琢磨した結果、優勝することができて、

本当にいい終わり方というか、有終の美で終われてよかったという思いです。

落合：4年間を振り返ったら、インカレにはずっとクオードで出ていたなと思いました。3年生の時は留学に行く前まで出られなかったけど、それ以外の3年はインカレに出ることができました。クオード、ダブル、シングルで試合に出させてもらったけれど、やっぱり一番楽しいのはクオードだということに留学から帰ってきて気づきました。そこからはずっと、大会はクオードで出ていました。ラスト1年は日本一を目標はしていたけれど、やっぱり楽しみながら勝ちたいという思いが芽生え始めて、とりあえずみんなを盛り上げて、自分達が楽しいと思いつつながらボートをするというのを考えるようになってきましたね。実際に腰を痛めて辛い時とかもあったけれど、周りのみんなが支えてくれたり、雰囲気もすごく良かったし、楽しく終わったのが何より嬉しいです。

―（三苦と東野に）今年1年の振り返りと、これからの抱負をお願いします。

三苦：大学生になって、高校と大学の違いをすごく痛感する日々でした。やっぱり実力差が大きくて、自分が今まで高校でやってきたものが通用しないということをすごく感じました。でも、インカレ期間で先輩たちに育ててもらって、結果的に優勝もできたし、とにかく自分だけでは絶対にここまで来れなかったんで、多くの人に支えられ

た1年だったと思います。これから、私は2年生になって後輩もできるので、頼りなさがな私ではもういられないなと思うので、頼もしいところをもっと見せていけるように頑張りたいです。先輩方がたくさん教えてくれたことを、今度は同期に、そして後輩にもどんどん伝えていって、自分が上回生になった時に部を引っ張っていけるような存在になれたらいいなと思います。

東野：私は1回生からずっと試合に出させてもらっていて、今年も順調に良い成績を残せた中で、特に彩夏さんと陽乃花さんにとって最後の大きな大会で、すごく不安が大きくて、ちょっといいように行きすぎじゃないかって自分の中で思っていました。前回の戦績を超えることができるのかという不安が常にありました。でも、最終的にはやるしかないという気持ちに切り替えてることができたのが個人的には良かったと思います。あとは陽乃花さんと彩夏さんの存在がとにかく大きくて、頼りがいのある詩葉ちゃんの背中を見ながら漕がせてもらって、メンバーに恵まれてインカレ出れたんだという気持ちと、これからは自分とちゃんと女子を引っ張っていかないと、もっと頑張らないとダメだなっていう気持ちがあります。これから先シーズンに入ったら冬のトレーニングの成果を出せるように、全日本スタートダッシュちゃんと決めていきたいなと思います。

― どんな1年かを、漢字一文字で表してください。

清水：『勝』です。とにかく勝ちにこだわった1年でした。こだわりの続けた結果、念願だった日本一に2度立つことができ、諦めずに頑張ってきたことが心から思いました。

落合：『挑』です。留学から帰ってきて体力をほぼ0から鍛え直し、さらに1・2年の時よりもフィジカルをつけて良い順位を狙うために必死にトレーニングや試合に挑んだためです。思うような結果が出ず、辛い時期もあったけれど、周りの部員の励ましや応援のおかげで挑戦できたり、最終対校クオードで戦えて有終の美を飾れました。

三苦：『成』です。自分にとって大きな成長をすることができた1年であり、また先輩方とともに日本一を成し遂げることができたからです。

東野：『飛』という字にしたいと思っています。飛躍という意味を込めて、大学2年生で日本一を成し遂げることができたのは、成長の証であり、さらなる飛躍を期待されることだと思っています。これからの大会や目標に向けて、さらに高く飛び立つことを目指すという意味を込めてこの漢字にしました。この結果に満足することなく、さらに上を目指して元気いっぱい頑張っていきたいです。



自主自立

- ・男女対校 日本一
- ・男女エルゴ平均 6:55 cut
- ・女子エルゴ平均 8:05 cut

部員1人ひとりがチーム内での
自身の立ち位置を把握し、
部のためになにができるのかを
考えられる
チームを目指しました。

主将 青木 優太





女子 クォドルプル

S:落合 陽乃花 (クロ地4・彦根東)
3:児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭)
S:金谷 りさ (スポ健2・新潟)
B:酒井 美柚子 (文情2・小松明峰)

使用艇 Fortuna

優勝!

1000mという慣れない距離でのレースでも優勝できて嬉しい。中盤から後半にかけて伸びていく私たちのクルーはスタート勝負の1000mに不安を抱いていた。しかし、ハNZを素早く出し、フィナルの押し込みを意識した結果、最終スタート37前後でキープでき、中盤で相手を突き放すことができた。今大会で得た課題は、船に抵抗のかわらないリズムを作ることだ。現在、フォワードで勢いのままにキャッチをしてしまい、エントリー時に船が止まっている。それを、フィナルの動きを丸く、セットからキャッチまでを焦らずリズムよく漕げるようにしたい。そのためにはも全体のボディの動きや各々がリズム感をもつことが大切になってくる。

決勝 レースNo.167 10:16発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学	3 3:33.84
②	立命館大学	4 3:38.10
③	龍谷大学	2 3:44.65
④	関西学院大学	1 4:01.37

予選 レースNo.139 12:38発艇		
順位	クルー	レーン 1000mタイム
①	同志社大学	3 3:25.54
②	龍谷大学	4 3:31.04
③	立命館大学	1 3:34.64
④	関西学院大学	2 3:51.77



第75回 朝日レガッタ

2024年5月3日〜6日 於…関西みらいローイングセンター

戦績 ハイライト



女子ペア

S:清水 彩夏 (社会4・吉田)
B:東野 花 (スポ健2・若狭東)

使用艇

Dwight Whitney Learned

優勝!

今大会は2人ともスリープ種目初めて、ペア初めての出場となり、自身らの力が試される場であった。前日までの練習ではレースがしつかりできるか不安な状態であったが、本番は2人の漕ぎを合わせることで、納得のいくレースをすることができた。現段階でも戦える力を持っていることを理解することができた。計3本を通して、リズムの作り方、スタートの出力、ラストの上げ方等、いい点と改善点が顕になったので全日本までにさらに成長できるようにしたい。またとにかく距離を漕ぎ安定感あるクルーに仕上げていきたい。

A決勝 レースNo.67 11:06発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	3 8:33.52
②	大阪公立大学	4 9:00.39

準決勝A-1組 レースNo.33 13:25発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	3 7:53.02
②	大阪公立大学	4 8:16.93

レースNo.6 9:55発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	4 7:54.94
②	大阪公立大学	2 8:18.67



女子 クォドルプル

S:落合 陽乃花 (クロ地4・彦根東)
3:児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭)
S:金谷 りさ (スポ健2・新潟)
B:酒井 美柚子 (文情2・小松明峰)

使用艇 Fortuna

優勝!

インカレ再結成クルーでのシーズン初戦で優勝でき、良いスタートダッシュが切れたように思う。まず、良かった点は、①レース全体での水中の落ち幅が小さくなったこと。②コンパクトに漕げるようになり、無駄な動きが減ったこと。③ラストスパートでレートと水中が上がり、艇が伸びるようになったこと。の3点が挙げられる。改善点は、①スタートの立ち上げ3本の精度を上げる。②リズムのメリハリをつけ、船の上下の動きを減らす。③フィナルが重くならないようにハNZ、セットを意識する。の3点である。これらを改善するとともに、このクルーのよかった点をさらに伸ばし、今大会で得た各々の課題解決に取り組み、今後の大会に挑みたい。

A決勝 レースNo.72 11:46発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	3 7:36.46
②	関西大学	4 8:02.37
③	関西学院大学	2 8:33.00

準決勝A-1組 レースNo.47 15:17発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	3 7:18.44
②	関西大学	4 7:39.27
③	関西学院大学	2 8:08.56

レースNo.20 11:05発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	4 7:12.88
②	関西大学	2 7:37.21
③	関西学院大学	3 8:02.45

第9回 西日本選手権

2024年4月27日〜28日 於…大阪府立漕艇センター



2024年度 関西選手権競漕大会
2024年7月6日～7日 於…大阪府立漕艇センター

全開放流と怪我の影響で約2週間練習ができていない中で大会に挑んだ。その期間中に、各々が課題に向き合いながら練習に取り組んだ結果が今大会の優勝に繋がったと考える。予選ではラストスパートで関西学院大学との差を縮めたものの、スタートで開けた差を第3Qで一気に縮められ、抜かれてしまった。そのため、決勝ではスタートから1500mまでを勝負する作戦を立てた。その結果、1000m地点のミドルスパートで差が開き、そのままラストに繋がる漕ぎができた。その中でも、ファイナルの抜きあげ方やボディの使い方、キャッチ周りのレンジの取り方など多くの課題が上がり、これらを改善してインカレに繋げていきたい。



女子 ダブルスカル

S:落合 陽乃花(グロ地4・彦根東)
B:児嶋 奎(スポ健3・桐蔭)

使用艇 Alice Jennette Starkweather

優勝!

A決勝 レースNo.81 発艇12:58			予選1組 レースNo.19 発艇11:30		
順位	クルー	レーン 2000mタイム	順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	4 8:28.58	①	関西学院大学 A	4 8:22.43
②	関西学院大学 A	3 8:31.63	②	同志社大学	2 8:28.86
③	関西みらい銀行	1 8:36.23	③	関西みらい銀行	1 8:34.52
④	龍谷大学	2 8:50.10	④	南山大学	3 9:22.82
⑤	名古屋大学	5 9:06.58	⑤	愛媛大学	6 9:40.16
⑥	南山大学	6 9:15.13	⑥	滋賀大学教育学部 叶	5 9:45.00



第102回 全日本ローイング選手権大会
2024年6月20日～23日 於…海の森水上競技場

S:清水 彩夏(社会4・吉田)
B:東野 花(スポ健2・若狹東)

使用艇 Dwight Whitney Learned



女子ペア

優勝!

予選2組 レースNo.20 12:02発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	3 7:58.78
②	立教大学	2 8:10.55

A決勝 レースNo.88 10:50発艇		
順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	4 7:52.13
②	立教大学	2 7:59.35
③	法政大学	5 07:59.60
④	早稲田大学	3 8:04.27
⑤	龍谷大学	1 8:19.26
⑥	一橋大学	6 8:40.43



同志社大学女子部初優勝、心から嬉しかったです。
予選では横風が強くコンディションに不安があったが、自分たちのリズムを維持しタイム順1位で通過することができた。
決勝では、予選での安定した漕ぎを再度発揮できるよう、落ち着いて集中して漕ぐことをとにかく意識し、1本通して自分たちのしたい漕ぎができたのでよかった。今後はさらにパワーや持久力をアップさせ、細かい漕ぎの技術も改善していき、残りのシーズンの試合も優勝できるように頑張りたい。



A決勝 レースNo.198 10:46発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	日本大学	5 6:58.36
②	金沢大学	1 7:03.68
③	同志社大学	3 7:05.39
④	中央大学	4 7:06.06
⑤	日本体育大学	6 7:11.36
⑥	仙台大学	2 7:16.16

A決勝 レースNo.212 14:00発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	仙台大学	5 7:17.91
②	同志社大学・滋賀大学	4 7:22.94
③	立教大学	3 7:29.13
④	日本体育大学	2 7:43.99
⑤	大阪大・神戸大混成	6 7:56.12
⑥	北大名大名工南山混成	1 8:23.41

準決勝B組 レースNo.106 9:40発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	3 8:06.23
②	関西学院大学	1 8:24.55
③	北海道大学 A	2 8:25.30
④	東京経済大学 B	4 8:28.59
⑤	東京大学 A	5 8:40.34

A決勝 レースNo.127 14:00発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	関西電力	1 7:52.74
②	同志社大学 A	3 7:56.67
③	立命館大学	4 8:00.72
④	東北大学 A	2 8:02.54



女子
ダブルスカル

S:東野 花(スポ健2・若狭東)
B:三苫 詩葉(社会1・膳所)

使用艇

Alice Jennette Starkweather

準優勝

第3位

準決勝1組 レースNo.162 11:06発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	2 7:09.21
②	日本大学	3 7:11.52
③	金沢大学	4 7:13.15
④	東京経済大学	5 7:16.44
⑤	法政大学	1 7:20.82

S:安陵 将太郎(商4・清風)
B:寺井 大貴(商3・米子東)

使用艇

Dwight Whitney Learned



男子ペア



女子エイト

準優勝!

C:開高 礼香(政策4・同志社香里)
S:清水 彩夏(社会4・吉田)
7:東野 花(スポ健2・若狭東)
6:鉄藤 蓮(滋賀大学)
5:西村 菜々花(滋賀大学)
4:三苫 詩葉(社会1・膳所)
3:落合 陽乃花(グロ地4・彦根東)
2:児嶋 奎(スポ健3・桐蔭)
B:酒井 美柚子(文情2・小松明峰)

使用艇 WILD ROVER JOE

第65回全日本新人ローイング選手権大会
2024年10月18日〜20日 於 戸田ボートコース



女子
クォドルプル



S:清水 彩夏(社会4・吉田)
3:落合 陽乃花(グロ地4・彦根東)
S:三苫 詩葉(社会1・膳所)
B:東野 花(スポ健2・若狭東)

使用艇 Fortuna

優勝!



インカレという大舞台で女子部初優勝という結果を残したことを大変嬉しく思う。乗り初めた頃は各人がそれぞれの漕ぎをしており、技術的にも未熟なところがたくさんあった。しかし、コーチから技術的なアドバイスをもらったり、富山合宿に参加させてもらったり、富山国際の方々と並べをさせてもらったりしたことでレベルアップすることができた。特に、4人で楽に2000mを漕ぎ切れるリズム感やオール捌きを研究した。その結果、船やオールの動きが統一されていき、それに付随して4人の気持ちも同じ方向を向いていったことが優勝へと繋がったと考える。



A決勝 レースNo.198 10:46発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学	6 6:44.87
②	仙台大学	3 6:48.96
③	中央大学	2 6:51.09
④	東北大学	5 6:52.17
⑤	明治大学	4 6:57.93
⑥	富山国際大学	1 7:13.16

準決勝2組 レースNo.165 11:34発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	明治大学	5 7:00.45
②	中央大学	4 7:02.16
③	同志社大学	3 7:03.91
④	京都大学	1 7:17.74
⑤	早稲田大学	2 7:23.78

予選2組 レースNo.32 12:58発艇

順位	クルー	レーン 2000mタイム
①	同志社大学 A	5 7:27.02
②	富山国際大学	2 7:50.87
③	龍谷大学	4 7:57.35
④	関西大学	1 8:02.89
⑤	日本体育大学	3 8:05.61

第51回全日本大学ローイング選手権大会
2024年9月4日〜8日 於 戸田ボートコース

● 第75回朝日レガッタ (関西みらいローイングセンター)

予選1組	M4+	1000m	4着	03:31.38	1着 大阪大学医学部 ARES
予選1組	M2×A	1000m	4着	03:31.38	1着 龍谷大学A
予選5組	M2×B	1000m	4着	03:57.50	1着 山口合同ガスB
予選2組	M2×C	1000m	3着	03:52.37	1着 滋賀大学教育学部・青波
予選4組	M2×D	1000m	5着	03:55.13	1着 今治造船A
予選6組	M1×A	1000m	4着	04:07.84	1着 滋賀医科大学
予選4組	M1×B	1000m	4着	04:10.31	1着 東レ滋賀A
予選3組	M1×C	1000m	4着	03:51.36	1着 今治造船
予選1組	W2×A	1000m	4着	04:07.65	1着 今治造船
予選4組	W2×B	1000m	4着	04:00.08	1着 京都大学B
予選2組	W1×A	1000m	3着	04:15.43	1着 滋賀RC
予選3組	W1×C	1000m	2着	04:11.17	1着 プリントバック
敗者復活2組	M4+	1000m	3着	03:31.11	1着 京都大学
敗者復活2組	M2×A	1000m	1着	03:35.94	1 着 同志社大学 A
敗者復活4組	M2×B	1000m	3着	03:47.98	1着 大阪工業大学
敗者復活2組	M2×C	1000m	3着	03:48.23	1 着 同志社大学 A
敗者復活2組	M2×D	1000m	2着	03:47.30	1 着 同志社大学 A
敗者復活2組	M1×A	1000m	3着	03:58.69	1着 立命館大学B
敗者復活3組	M1×B	1000m	3着	04:03.12	1着 同志社大学C
敗者復活3組	M1×C	1000m	1着	03:46.30	1着 同志社大学C
敗者復活2組	W2×A	1000m	4着	04:13.68	1着 鳥取大学医学部 Ailes
敗者復活3組	W2×B	1000m	2着	03:56.17	1着 関西学院大学A
敗者復活1組	W1×A	1000m	2着	04:11.01	1着 広島大学
準決勝3組	M2×A	1000m	5着	03:41.13	1着 山口合同ガスA
準決勝2組	M1×C	1000m	4着	03:53.60	1着 龍谷大学)
準決勝2組	W1×A	1000m	4着	04:11.43	1着 滋賀RC
準決勝2組	W1×C	1000m	3着	04:05.56	1着 滋賀RC
決勝	M8+	1000m	3着	03:12.67	1着 東レ滋賀
決勝	M4×A	1000m	3着	03:15.71	1着 龍谷大学
決勝	M4×B	1000m	6着	03:26.80	1着 龍谷大学
決勝	W4×	1000m	1着	03:33.84	1 着 同志社大学
決勝	W1×C	1000m	6着	04:19.42	1着 プリントバック

● 第102回全日本ローイング選手権(海の森水上競技場)

予選1組	M4+	2000m	3着	06:56.5	1着 大阪公立大学
予選2組	M4ー	2000m	5着	06:50.9	1着 戸田中央総合病院 RC
予選3組	M4×	2000m	4着	06:34.5	1着 東京経済大学
予選2組	W8+	2000m	2着	06:46.2	1着 デンソーオルカリス
予選2組	W4×	2000m	5着	07:34.3	1着 関西電力
予選2組	W2×	2000m	5着	07:58.6	1着 Team SSP
予選2組	W2ー	2000m	1着	07:58.8	1 着 同志社大学
敗復1組	M4+	2000m	4着	07:57.0	1着 東京経済大学
敗復1組	M4ー	2000m	3着	07:48.3	1着 中央大学
敗復2組	M4×	2000m	2着	07:26.9	1着 中央大学
敗復	W4×	2000m	6着	08:39.2	1着 仙台大学
敗復	W2×	2000m	4着	08:06.0	1着 今治造船
準決勝2組	M4ー	2000m	5着	06:48.6	1着 早稲田大学
準決勝2組	M4×	2000m	6着	06:29.5	1着 NTT 東日本
C決勝	M4+	2000m	1着	06:52.9	1着 同志社大学
B決勝	M4ー	2000m	6着	06:54.0	1着 日本大学
B決勝	M4×	2000m	6着	06:33.3	1着 龍谷大学
B決勝	W4×	2000m	3着	07:23.2	1着 中央大学
B決勝	W2×	2000m	1着	07:51.0	1 着 同志社大学
A決勝	W2ー	2000m	1着	07:52.1	1 着 同志社大学
A決勝	W8+	2000m	4着	06:33.0	1着 デンソーオルカリス

2024年5月3日～6日

M8+	C：鈴木 新汰 (商3・浜松湖南) S：寺井 大貴 (社会3・米子東) 7：安陵 将太郎 (商4・清風) 6：堅山 航 (法2・鹿児島第一) 5：其田 怜也 (政策2・大分舞鶴) 4：出野 真誠 (政策2・草津東) 3：青木 優太 (法4・世田谷学園) 2：清水 大樹 (生命医科2・彦根東) B：村崎 尊 (商3・熊本学園)
M4+	C：高垣 里奈 (神2・育英 西) S：加納 尚 (グロ地4・同志社) 3：高島 大介 (経済4・新潟第一) 2：藤原 瑛 (法2・同志社) B：中田 大斗 (経済2・小山台)
M4×A	S：茶円 宥斗 (スポ健1・清風) 3：橋本 健希 (商1・桜宮) 2：五對 真生 (経済2・智辯和歌山) B：福味 孝太郎 (心理4・済々黻)
M4×B	S：服部 遥虹 (理工2・膳所) 3：高木 智弥 (法4・海部) 2：平城 悠多 (法2・同志社) B：開高 将成 (経済2・清風)
M2×A	S：田中 大登 (法2・同志社香里) B：多田 悠真 (商4・嵯峨野)
M2×B	S：岡本 悠弥 (商3・山田) B：藤原 治己 (理工2・智弁学園奈良カレッジ)
M2×C	S：東 宏太郎 (政策2・六甲学院) B：西岡 諒真 (社会3・池田)
M2×D	S：黒田 諒介 (経済2・名古屋) B：安達 寛人 (経済2・同志社香里)
M1×A	中塚 悠斗 (商3・同志社)
M1×B	岡本 琉星 (経済2・城南菱創)
M1×C	小山 智広 (スポ健1・熊本学園)
W4×	S：落合 陽乃花 (グロ地4・彦根東) 3：児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭) 2：金谷 りさ (スポ健2・新潟) B：酒井 美柚子 (文情2・小松明峰)
W2×A	S：金 真大 (法2・延暦寺学園 比叡山) B：福原 彩加 (政策2・明和)
W2×B	S：太田 小遥 (表象文化1・備 前緑陽) B：小林 希実 (表象文化1・横 浜商業)
W1×A	瀬戸口 杏李 (商2・熊本学園)
W2×B	松山 ゆずは (法3・立命館守山)

2024年6月20日～23日

M4+	C：鈴木 新汰 (商3・浜松湖南) S：寺井 大貴 (社会3・米子東) 3：安陵 将太郎 (商4・清風) 2：堅山 航 (法2・鹿児島第一) B：村崎 尊 (商3・熊本学園大学付属)	M4ー	S：清水 大樹 (生命医科2・彦根東) 3：青木 優太 (法4・世田谷学園) 2：出野 真誠 (政策2・草津東) B：其田 怜也 (政策2・大分舞鶴)	M4×	S：茶円 宥斗 (スポ健1・清風) 3：橋本 健希 (商1・桜宮) 2：中田 大斗 (経済2・小山台) B：石井 晴也 (社会1・関西)	LW2ー	S：清水 彩夏 (社会4・吉田) B：東野 花 (スポ健2・若狭東)	W8+	C：開高 礼香 (政策4・同志社香里) S：清水 彩夏 (社会4・吉田) 7：東野 花 (スポ健2・若狭東) 6：森井 望 (トヨタ) 5：田井 夏帆 (トヨタ) 4：児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭) 3：金谷 りさ (スポ健2・新潟) 2：四方 美咲 (陽進堂) B：落合 陽乃花 (グロ地4・彦根東)	W4×	S：三苫 詩葉 (社会1・膳所) 3：太田 小遥 (表象文化1・備前緑陽) 2：松山 ゆずは (法3・立命館守山) B：金谷 りさ (スポ健2・新潟)	W2×	S：落合 陽乃花 (グロ地4・彦根東) B：児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭)										
------------	---	------------	--	------------	---	-------------	---------------------------------------	------------	--	------------	--	------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 第8回西日本選手権 (大阪府立漕艇センター)

予選 1 組	M4+A	2000m	4 着	06:53.25	1 着 Team SSP
予選 2 組	M4+B	2000m	3 着	06:56.42	1 着 関西大学
予選 1 組	M4ー	2000m	2 着	06:56.23	1 着 関西電力
予選 2 組	M4×A	2000m	2 着	06:46.78	1 着 今治造船
予選 1 組	M4×B	2000m	3 着	06:33.98	1 着 富山国際大学
予選 1 組	M2ーA	2000m	4 着	07:33.19	1 着 トヨタ紡織
予選 2 組	M2ーB	2000m	2 着	08:02.66	1 着 関西大学
予選 3 組	M2×A	2000m	4 着	09:53.53	1 着 大阪体育大学
予選 3 組	M2×B	2000m	2 着	07:41.23	1 着 大阪体育大学
予選 1 組	M2×C	2000m	4 着	07:51.30	1 着 NTT 東日本
予選 2 組	M2×D	2000m	3 着	07:58.26	1 着 米子漕艇クラブ
予選 4 組	M1×A	2000m	6 着	08:03.77	1 着 Team SSP
予選 3 組	M1×B	2000m	4 着	08:23.91	1 着 関西学院大学 A
予選 1 組	W4×	2000m	1 着	07:12.88	1 着 同志社大学
予選 1 組	W2ー	2000m	1 着	07:54.94	1 着 同志社大学
予選 2 組	W2×A	2000m	4 着	07:55.16	1 着 富山国際大学 A
予選 3 組	W2×B	2000m	4 着	08:09.69	1 着 関西電力
予選 1 組	W2×C	2000m	3 着	08:11.98	1 着 京都大学
予選 1 組	W1×B	2000m	6 着	09:19.42	1 着 プリントバック
予選 3 組	W1×A	2000m	4 着	08:48.51	1 着 デンソーオルカリス B
予選 1 組	W1×B	2000m	6 着	09:19.42	1 着 プリントバック
準決 A-2 組	M4+A	2000m	1 着	07:02.89	1 着 同志社大学 A
準決 A-2 組	M4+B	2000m	4 着	07:14.12	1 着 同志社大学 A
準決 A-1 組	M4ー	2000m	2 着	07:06.49	1 着 関西電力
準決 A-2 組	M4×A	2000m	4 着	07:00.99	1 着 今治造船
準決 A-1 組	M4×B	2000m	2 着	06:46.76	1 着 富山国際大学
準決 A-1 組	M2ーA	2000m	4 着	07:37.09	1 着 トヨタ紡織
準決 A-1 組	M2ーB	2000m	5 着	07:48.49	1 着 トヨタ紡織
準決勝 A-2 組	M2vA	2000m	3 着	07:31.92	1 着 米子漕艇クラブ
準決勝 A-2 組	M2×B	2000m	4 着	07:44.65	1 着 米子漕艇クラブ
準決勝 A-1 組	M2×C	2000m	5 着	07:49.10	1 着 NTT 東日本
準決勝 A-1 組	M2×D	2000m	4 着	07:48.78	1 着 NTT 東日本
準決勝 A-1 組	W4×	2000m	1 着	07:18.44	1 着 同志社大学
準決勝 A-1 組	W2ー	2000m	1 着	07:53.02	1 着 同志社大学
準決勝 A-2 組	W2×A	2000m	4 着	07:54.42	1 着 京都大学
準決勝 A-2 組	W2×B	2000m	5 着	08:08.56	1 着 京都大学
準決勝 A-2 組	W1×A	2000m	6 着	08:54.41	1 着 プリントバック
準決勝 B-1 組	W2×C	2000m	2 着	08:17.05	1 着 関西大学
準決勝 B-1 組	W1×B	2000m	4 着	09:16.86	1 着 関西学院大学
準決勝 B-2 組	M1×B	2000m	4 着	08:32.61	1 着 瀬田漕艇クラブ
準決勝 B-1 組	M1×A	2000m	2 着	08:16.97	1 着 トヨタ RC (E)
F-D	M1×B	2000m	2 着	09:22.14	1 着 近畿大学 B
F-D	W1×B	2000m	4 着	09:52.46	1 着 関西学院大学
F-C	M1×A	2000m	5 着	08:37.95	1 着 トヨタ RC (E)
F-C	W2×C	2000m	2 着	08:46.59	1 着 関西大学
F-C	W1×A	2000m	5 着	09:20.17	1 着 龍谷大学 B
F-B	M4+B	2000m	1 着	07:20.27	1 着 同志社大学 B
F-B	M4×A	2000m	1 着	07:11.40	1 着 同志社大学
F-B	M2×B	2000m	2 着	08:11.80	1 着 近畿大学 A
F-B	M2×C	2000m	3 着	08:15.62	1 着 近畿大学 A
F-B	M2×D	2000m	4 着	08:17.26	1 着 近畿大学 A
F-B	W2×A	2000m	2 着	08:21.83	1 着 金沢大学 A
F-B	W2×B	2000m	5 着	08:43.53	1 着 金沢大学 A
F-A	W4×	2000m	1 着	07:36.46	1 着 同志社大学
F-A	W2ー	2000m	1 着	08:33.52	1 着 同志社大学
F-A	M4+A	2000m	4 着	07:16.51	1 着 Team SSP
F-A	M4ー	2000m	2 着	07:01.95	1 着 関西電力
F-A	M4×B	2000m	4 着	06:55.48	1 着 今治造船
F-A	M2ーA	2000m	4 着	08:06.08	1 着 トヨタ紡織
F-A	M2ーB	2000m	6 着	08:43.07	1 着 トヨタ紡織
F-A	M2×A	2000m	6 着	08:14.33	1 着 NTT 東日本

2023年4月29日～30日

M4ー	S：福味 孝太郎 (心理4・済々黌) 3：茶円 宥斗 (スポ健1・清風) 2：橋本 健希 (商1・桜宮) B：五對 真生 (経済2・智弁和歌山)
------------	---

M4×A	S：服部 遥虹 (理工2・膳所) 3：高木 智也 (法4・海部) 2：平城 悠多 (法2・同志社) B：開高 将成 (経済2・清風)
-------------	---

M4×B	S：上林 汰生 (スポ健1・彦根東) 3：木下 勇人 (心理2・六甲学院) 2：小山 智広 (スポ健1・熊本学院大付属) B：石井 晴也 (社会1・関西)
-------------	--

M2ーA	S：加納 尚 (グロ地4・同志社) B：高島 大 介 (経済4・新潟第一)
-------------	--

M2ーB	S：藤原 瑛 (法2・同志社) B：中田 大斗 (経済2・小山台)
-------------	--------------------------------------

M2×A	S：田中 大登 (法2・同志社香里) B：多田 悠真 (商4・嵯峨野)
-------------	--

M2×B	S：岡本 悠弥 (商3・山田) B：藤原 治己 (理工2・智弁学園奈良カレッジ)
-------------	---

M2×C	S：東 宏太郎 (政策2・六甲学院) B：西岡 諒真 (社会3・池田)
-------------	--

M2×D	S：黒田 諒介 (経済2・名古屋) B：安達 寛人 (経済2・同志社香里)
-------------	--

M1×A	中塚 悠斗 (商3・同志社)
-------------	----------------

M1×B	岡本 琉星 (経済2・城南菱創)
-------------	------------------

W4×	S：落合 陽乃花 (グロ地4・彦根東) 3：児嶋 奎 (スポ健3・桐蔭) 2：金谷 りさ (スポ健2・新潟) B：酒井 美柚子 (文情2・小松明峰)
------------	---

W2ー	S：清水 彩夏 (社会4・吉田) B：東野 花 (スポ健2・若狭東)
------------	---------------------------------------

W2×A	S：堀内 優 (スポ健1・富士河口湖) B：松山 ゆずは (法3・立命館守山)
-------------	--

W2×B	S：金 真大 (法2・延暦寺学園比叡山) B：福原 彩加 (政策2・明和)
-------------	--

W2×C	S：太田 小遥 (表象文化1・備前緑陽) B：小林 希実 (表象文化1・横浜商業)
-------------	--

W1×A	瀬戸口 杏李 (商2・熊本学園大学付属)
-------------	----------------------

W1×B	松本 和佳 (商2・大阪ビジネスフロンティア)
-------------	-------------------------

● 第51回全日本大学ローイング選手権大会（戸田ボートコース）

敗者復活	W2ー	2000m	3 着	08:41.41	1着 一橋大学
敗者復活2組	W2×	2000m	1 着	08:08.68	1着 同志社大学
敗者復活2組	W1×	2000m	2 着	08:48.49	1着 東京経済大学
準々決勝4組	M4+	2000m	4 着	07:24.68	1着 明治大学
準々決勝1組	M4×	2000m	4 着	06:53.04	1着 明治大学
準々決勝5組	M2ー	2000m	1 着	07:09.64	1着 同志社大学
準々決勝2組	M1×	2000m	4 着	07:47.23	1着 法政大学
準々決勝1組	W4+	2000m	5 着	08:13.30	1着 仙台大学
準々決勝1組	W1×	2000m	3 着	08:17.91	1着 富山国際大学
準決勝2組	M8+	2000m	5 着	06:29.99	1着 日本大学
準決勝1組	M2ー	2000m	1 着	07:09.21	1着 同志社大学
準決勝2組	W4×	2000m	3 着	07:03.91	1着 明治大学
準決勝1組	W2ー	2000m	5 着	08:35.58	1着 滋賀大学
準決勝2組	W2×	2000m	4 着	07:48.20	1着 早稲田大学
C決勝	W1×	2000m	3 着	08:39.66	1着 日本体育大学
B決勝	M8+	2000m	4 着	06:22.69	1着 東北大学
B決勝	W4+	2000m	3 着	07:41.05	1着 神戸大学
B決勝	W2ー	2000m	4 着	08:32.39	1着 筑波大学
B決勝	W2×	2000m	1 着	07:43.54	1着 同志社大学
A決勝	M2ー	2000m	3 着	07:05.39	1着 日本大学
A決勝	W8+	2000m	2 着	07:22.94	1着 仙台大学
A決勝	W4×	2000m	1 着	06:44.87	1着 同志社大学

● 第65回全日本新人口ローイング選手権大会（戸田ボートコース）

予選B組	M8+	2000m	2 着	06:12.27	1着 明治大学
予選E組	M4+	2000m	3 着	07:19.62	1着 日本大学
予選J組	M2×	2000m	2 着	07:25.87	1着 名古屋大学
予選C組	M1×	2000m	2 着	07:57.98	1着 日本大学B
予選C組	W4+	2000m	2 着	07:35.08	1着 法政大学
予選I組	W2×	2000m	1 着	07:37.09	1着 同志社大学
予選B組	W2×	2000m	3 着	08:22.71	1着 東京経済大学B
予選B組	W1×	2000m	3 着	08:33.48	1着 北海道大学
敗者復活C組	M8+	2000m	1 着	06:21.46	1着 同志社大学
敗者復活A組	M4+	2000m	2 着	07:05.33	1着 立命館大学
敗者復活D組	M2×	2000m	2 着	07:15.71	1着 今治工業高校
敗者復活D組	M1×	2000m	1 着	07:55.03	1着 同志社大学
敗者復活B組	W4+	2000m	2 着	07:36.42	1着 熊本学園大学付属中高
敗者復活C組	W2×	2000m	2 着	08:33.57	1着 新田高校
敗者復活C組	W1×	2000m	1 着	08:30.00	1着 同志社大学
準決勝A組	M8+	2000m	4 着	06:40.25	1着 中央大学
準決勝A組	M4+	2000m	3 着	07:42.30	1着 日本大学
準決勝D組	M1×	2000m	5 着	08:21.25	1着 関西電力
準決勝B組	W4+	2000m	4 着	08:09.03	1着 中央大学
準決勝B組	W2×	2000m	1 着	08:06.23	1着 同志社大学
準決勝B組	W1×	2000m	3 着	09:11.60	1着 成立学園高校
B決勝	M8+	2000m	2 着	06:49.89	1着 早稲田大学
C決勝	M4+	2000m	4 着	07:39.88	1着 東京経済大学
B決勝	W4+	2000m	2 着	07:59.94	1着 法政大学
A決勝	W2×	2000m	2 着	07:56.67	1着 関西電力
B決勝	W1×	2000m	3 着	09:22.54	1着 立命館大学

M1×B 小山 智広（スポ健1・熊本学園）
W4× S：清水 彩夏（社会4・吉田）
3：落合 陽乃花（グロ地4・彦根東）
2：三苫 詩葉（社会1・膳所）
B：東野 花（スポ健2・若狭東）
W4+ C：開高 礼香（政策4・同志社香里）
S：瀬戸口 杏李（商2・熊本学園大付属）
3：堀内 優（スポ健1・富士河口湖）
2：福原 彩加（政策2・立明和）
B：金 真大（法2・延暦寺学園比叡山）
W2× S：児嶋 奎（スポ健3・桐蔭）
B：酒井 美柚子（文情2・小松明峰）
W2ー S：小林 希実（表象文化1・横浜商業）
B：松山 ゆずは（法3・立命館守山）
W1× 太田 小遥（表象文化1・備前緑陽）
M8+ C：開高 礼香（政策4・同志社香里）
S：清水 彩夏（社会4・吉田）
7：東野 花（スポ健2・若狭東）
6：鉢藤 蓮（滋賀大学）
5：西村 菜々花（滋賀大学）
4：三苫 詩葉（社会1・膳所）
3：落合 陽乃花（グロ地4・彦根東）
2：児嶋 奎（スポ健3・桐蔭）
B：酒井 美柚子（文情2・小松明峰）

2024年10月18日～20日

M8+ C：岩永 歩（現社1・桜宮）
S：橋本 健希（商1・桜宮）
7：小山 智宏（スポ健1・熊本学園）
6：豎山 航（法2・鹿児島第一）
5：中田 大斗（経済2・小山台）
4：出野 真誠（政策2・草津東）
3：石井 晴也（社会1・関西）
2：清水 大樹（生命2・彦根東）
B：茶円 宥斗（スポ健1・清風）
M4+ C：田村 元（理工1・堀川）
S：藤原 瑛（法学2・同志社）
3：其田 怜也（政策2・大分舞鶴）
2：平城 悠多（法学2・同志社）
B：五對 真生（経済2・智弁和歌山）
M2× S：上林 汰生（スポ健1・彦根東）
B：服部 遥虹（理工2・膳所）
M1× 開高 将成（経済2・清風）
W4+ C：高垣 里奈（神学2・育英西）
S：瀬戸口 杏李（商2・熊本学園大付属）
3：太田 小遥（表象文化1・備前緑陽）
2：堀内 優（スポ健1・富士河口湖）
B：小林 希実（表象文化1・横浜商業）
W2× S：東野 花（スポ健2・若狭東）
B：三苫 詩葉（社会1・膳所）
W2× S：福原 彩加（政策2・立明和）
B：金 真大（法2・延暦寺学園比叡山）
W1× 酒井 美柚子（文情2・小松明峰）

● 2024年度関西選手権競漕大会（大阪府立漕艇センター）

予選1組	M8+A	2000m	3 着	06:33.7	1 着 大阪大学
予選1組	M8+B	2000m	6 着	06:46.9	1 着 大阪大学
予選1組	M4×A	2000m	4 着	06:51.0	1 着 韓国招待
予選2組	M4×B	2000m	4 着	07:16.7	1 着 大阪公立大学
予選2組	M2×	2000m	5 着	09:27.9	1 着 立命館大学 A
予選5組	M1×A	2000m	5 着	08:47.1	1 着 金沢大学
予選1組	M1×B	2000m	3 着	09:13.1	1 着 トヨタ紡織 A
予選2組	M1×C	2000m	1 着	08:51.3	1 着 同志社大学 C
予選3組	M1×D	2000m	4 着	09:00.8	1 着 トヨタ紡織 C
予選1組	W4×	2000m	1 着	08:06.4	1 着 同志社大学
予選1組	W4+	2000m	3 着	08:09.4	1 着 立命館大学
予選2組	W2ー	2000m	1 着	08:41.3	1 着 同志社大学
予選1組	W2×	2000m	2 着	08:28.9	1 着 関西学院大学 A
予選1組	W1×A	2000m	3 着	10:08.3	1 着 龍谷大学A
予選2組	W1×B	2000m	2 着	08:46.5	1 着 プリントバック
予選3組	W1×C	2000m	3 着	10:29.0	1 着 関西学院大学 A
敗復	M4×A	2000m	1 着	07:14.1	1 着 同志社大学 A
敗復	M4×B	2000m	6 着	07:58.7	1 着 同志社大学 A
敗復	M2×	2000m	3 着	08:31.6	1 着 名古屋興業大学
敗復4組	M1×A	2000m	1 着	08:51.3	1 着 同志社大学 B
敗復3組	M1×B	2000m	3 着	08:55.9	1 着 立命館大学
敗復1組	M1×D	2000m	3 着	08:36.3	1 着 品川リフラクトリーズ B
敗復4組	W1×A	2000m	1 着	09:29.3	1 着 同志社大学 B
敗復3組	W1×C	2000m	1 着	09:53.6	1 着 同志社大学 C
準決勝3組	M1×A	2000m	6 着	09:10.6	1 着 トヨタ紡織 C
準決勝3組	M1×C	2000m	3 着	08:53.1	1 着 トヨタ紡織 C
準決勝1組	W1×A	2000m	4 着	09:39.8	1 着 プリントバック
準決勝2組	W1×B	2000m	1 着	09:22.9	1 着 同志社大学 B
準決勝3組	W1×C	2000m	3 着	09:55.4	1 着 滋賀 RC
A 決勝	M8+A	2000m	5 着	06:52.0	1 着 龍谷大学
A 決勝	M8+B	2000m	6 着	06:57.3	1 着 龍谷大学
A 決勝	M4×A	2000m	4 着	07:03.2	1 着 韓国招待
B 決勝	M1×C	2000m	2 着	08:25.5	1 着 品川リフラクトリーズ B
A 決勝	W4+	2000m	3 着	08:35.8	1 着 立命館大学
A 決勝	W4×	2000m	5 着	08:05.0	1 着 京都大学 A
A 決勝	W2ー	2000m	3 着	08:27.4	1 着 滋賀大学
A 決勝	W2×	2000m	1 着	08:28.6	1 着 同志社大学 B
A 決勝	W1×B	2000m	3 着	09:08.0	1 着 プリントバック

● 第51回全日本大学ローイング選手権大会（戸田ボートコース）

予選2組	M8+	2000m	3 着	06:32.47	1 着 慶應義塾大学
予選6組	M4+	2000m	4 着	07:30.28	1 着 日本大学
予選1組	M4ー	2000m	5 着	07:17.32	1 着 京都大学
予選2組	M4×	2000m	3 着	07:19.27	1 着 早稲田大学
予選1組	M2ー	2000m	2 着	07:26.74	1 着 日本大学
予選6組	M2×	2000m	5 着	07:26.59	1 着 早稲田大学
予選2組	M1×	2000m	1 着	07:49.56	1着 同志社大学
予選2組	W8+	2000m	1 着	07:10.68	1着 同志社大学・滋賀大学
予選3組	W4+	2000m	4 着	08:29.62	1 着 仙台大学
予選2組	W4×	2000m	1 着	07:27.02	1着 同志社大学
予選1組	W2ー	2000m	4 着	09:12.13	1 着 滋賀大学
予選2組	W2×	2000m	2 着	07:57.94	1 着 立教大学
予選3組	W1×	2000m	4 着	08:41.91	1 着 立教大学
敗者復活2組	M8+	2000m	2 着	06:23.71	1 着 東北大学
敗者復活5組	M4+	2000m	2 着	07:25.53	1 着 京都大学
敗者復活1組	M4ー	2000m	5 着	07:19.64	1 着 関西大学
敗者復活2組	M4×	2000m	2 着	07:00.97	1 着 京都大学
敗者復活1組	M2ー	2000m	1 着	07:41.30	1 着 同志社大学
敗者復活4組	M2×	2000m	4 着	07:19.72	1 着 慶應義塾大学
敗者復活1組	W4+	2000m	2 着	08:11.14	1 着 慶應義塾大学

2024年7月6日～7日

M8+A C：鈴木 新汰（商3・浜松湖南）
S：寺井 大貴（社会3・米子東）
7：安陵 将太郎（商4・清風）
6：豎山 航（法2・鹿児島第一）
5：村崎 尊（商3・熊本学園）
4：清水 大樹（生命2・彦根東）
3：青木 優太（法4・世田谷学園）
2：出野 真誠（政策2・草津東）
B：其田 怜也（政策2・大分舞鶴）
M8+B C：開高 礼香（政策4・同志社香里）
S：福味 孝太郎（心理4・済々黌）
7：五對 真生（経済2・智弁和歌山）
6：加納 尚（グロ地4・同志社）
5：高島 大介（経済4・新潟第一）
4：藤原 瑛（法学2・同志社）
3：多田 悠真（商4・嵯峨野）
2：木下 勇人（心理2・六甲学院）
B：小山 智広（スポ健1・熊本学園）
M4×A S：茶円 宥斗（スポ健1・清風）
3：橋本 健希（商1・桜宮）
2：中田 大斗（経済2・小山台）
B：石井晴也（社会1・関西）
M4×B S：服部 遥虹（理工2・膳所）
3：藤原 治己（理工2・智弁学園奈良カレッジ）
2：東宏 太郎（政策2・六甲学院）
B：岡本 悠弥（商3・山田）
M2× S：平城悠多（法学2・同志社）
B：田中大登（法学2・同志社香里）
M1×A 高木 智弥（法4・海部）
M1×B 中塚 悠斗（商3・同志社）
M1×C 開高 将成（経済2・清風）
M1×D 上林 汰生（スポ健1・彦根東）
LW2ー S：清水 彩夏（社会4・吉田）
B：東野 花（スポ健2・若狭東）
W4× S：三苫 詩葉（社会1・膳所）
3：太田 小遥（表象文化1・備前緑陽）
2：松山 ゆずは（法3・立命館守山）
B：金谷 りさ（スポ健2・新潟）
W4+ C：高垣里奈（神2・育英西）
S：福原彩加（政策2・愛知県立明和）
3：堀内優（スポ健1・山梨県富士河口湖）
2：金真大（法2・延暦寺学園比叡山）
B：小林希実（表象文化1・横浜商業）
W2×A S：落合 陽乃花（グロ地4・彦根東）
B：児嶋 奎（スポ健3・桐蔭）
W1×A 瀬戸口 杏李（商2・熊本学園）
W1×B 酒井 美柚子（文情2・小松明峰）
W1×C 松本 和佳（商2・大阪ビジネスフロンティア）

2024年9月4日～8日

M2ー S：安陵 将太郎（商4・清風）
B：寺井 大貴（商3・米子東）
M8+ C：鈴木 新汰（商3・浜松湖南）
S：橋本 健希（商1・桜宮）
7：村崎 尊（商3・熊本学園）
6：加納 尚（グロ地4・同志社）
5：青木 優太（法4・世田谷学園）
4：豎山 航（法2・鹿児島第一）
3：石井 晴也（社会1・関西）
2：福味 孝太郎（心理4・済々黌）
B：茶円 宥斗（スポ健1・清風）
M4+ C：岩永 歩（現社1・桜宮）
S：藤原 瑛（法学2・同志社）
3：其田 怜也（政策2・大分舞鶴）
2：平城 悠多（法学2・同志社）
B：五對 真生（経済2・智弁和歌山）
M4ー S：清水 大樹（生命2・彦根東）
3：高島 大介（経済4・新潟第一）
2：出野 真誠（政策2・草津東）
B：中田 大斗（経済2・小山台）
M4× S：開高 将成（経済2・清風）
3：多田 悠真（商4・嵯峨野）
2：中塚 悠斗（商3・同志社）
B：高木 智弥（法4・海部）
M2× S：服部 遥虹（理工2・膳所）
B：上林 汰生（スポ健1・彦根東）

規律を重んじるチームの雰囲気がありました。

初めて親元を離れ、様々なカルチャーショックを経験しながら、大学生生活をスタートさせました。私の代は当時としては人数が多く、入部からの1年間は20名近くで大部屋生活でした。個人のスペースは布団1枚分みたいな生活をしていたのですが、みんな疲れが溜まっていたのでしょね、夜中はいびきや歯ぎしりの大合唱で、中には寝言で先ほどの「お食事コール」を叫んだりする同期もいました。規律を守ること

20

練習については、当時、瀬田では一番練習時間が多かったんじゃないですかね。春は3モーシヨンの日もあり、冬の早朝3時半から星空を見ながらモーシヨンをしたこともありましたが、今思えば、他の学生には経験できない、すごい生活をしていたなと思います。

内藤 最初は関

先としてグツと身近な存在になりました

内藤

あと自分は教職課程も取っていたので授業

いることは何ですか。

りま

—どうして教師の道を選んだのですか。

――熊学のボート部監督になるまでの経緯を

 $\frac{1}{2}$



《プロフィール》

内藤 竜一 (ないとう・りゅういち)

1976年1月4日生(49歳)、熊本県熊本市出身。

熊本商科大学付属高校(現・熊本学園大学付属高校)を経て、1994年同志社大学文学部入学。

高校からローイング競技を始め、高校時代は全国準優勝。大学卒業後は地元熊本に戻り、公立中学校教諭を経て、2005年4月から母校で地歴公民科の教諭として教鞭をとりながらボート部部长を務める。



年後に地元で国体が開催されるということもあり、指導者として帰ってこないかと恩師からのお誘いがあったのですが、初めからすんなりとはいかず、教員生活スタートは私立の女子高に常勤講師という形で採用していただくことになりました。その学校にはボート部がなく違う競技の部活顧問を担当することになったので、国体には指導者としてではなく選手として出場することになりました。その国体のレースを当時担任していた生徒たちが応援に来てくれたんですが、レースを見終えた生徒達がボートをやりたいと言い始め、急遽ボート同好会を作ることになりました。翌年、私は熊本県の公立中学校教職員として採用されることになり、その学校を離れることになってしまったのですが、その後、同好会は部に昇格し、彼女達はインターハイに出場するまでになりました。ボート競技は人の可能性を広げる良い競技だなとあらためて感じました。配属



された中学校は生徒指導がなかなか大変な学校でしたが、さまざまな問題を抱える生徒達に体当たりで指導した経験は今の教師としての基礎にもなりました。次に異動した学校は阿蘇の山々に囲まれた田舎の中学校でしてのんびりとした時間の中でどっぷり中学校の先生になってました。結婚もし、子どもも生まれてたこともあり、その期間はすっかりボートからは離れた生活になっていました。その頃、たまたま熊学の後輩達のレース(九州選抜大会)を観に行く機会があり、久しぶりレース観戦を楽しみにして行っただけですが、熊学のクルーはほとんど最下位で、審判艇にも抜かれる大惨敗でした。隣で一緒に観ていた恩師から、「内藤、頑張ってみらんか」と言われ、このまま中学校の教師としてやっていこうという気持ちもありましたが、公立教職員を退職し、2005年4月に母校である熊学に戻ることになりました。今は毎年部員数が60名を超えるくらいになるのですが、当時の部員は14名しかいおらず、競技に対する意識もかなり下がってました。合宿に行けば夜遅くまで

の励ましや支援をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。卒業後も続く大学ボート部の繋がりをとても大切に感じています。――熊学のボート部監督としてどのようなことを心掛けて指導に当たっていますか。内藤 大学生と高校生では指導のあり方もだいぶ違うとは思いますが、高校生も大人として扱い、あまりいろいろと与え過ぎないように心掛けています。与え過ぎちゃうとどうしても自分自身で考えない習慣がついてしまうので、やはり自分自身で求めることが大切だと思います。高校生では珍しいかもしれませんが、今は練習メニューも全部自分たちで考えてもらっています。自分は練習のスケジュールは調整しますが、男女キャプテンがスケジュールに合わせてメニュー内容をそれぞれ話し合っ決めていくという形です。基本的には選手たちに任せています。例えば、日本国内の大会では「配艇」制度がありますが、自分達でちゃんとリギングを理解して素早くできるように普段から意識させています。それを実践するためには、とにかく日常のコミュニケーションが大切だと思います。私も生徒とは親子以上の歳の差になってきましたから、何でも話せる親しみのある雰囲気を作るよう心掛けています。ますます歳は離れていきますからどれだけ生徒との距離を縮められるかが大事になってます。時代の変化や環境の違いもありますので、そのあたり私自身にも変容が求められるところです。今年のチームの男子は例年になく少数で、競技レベルもそこまで高くない、あまり期待できなかったのですが、とにかくコミュニケーションを意識し

ゲームをしていたり、とにかく艇庫内が荒れていて、ボードゲームや釣り竿、野球のバットなどで散らかっており、まずは環境整備と意識改革からスタートとなりましたがここで本当に運命的な出会いがありまして、同志社の7つ歳下になる小川祐司君(H17年卒)が熊本に配属になったと同期から連絡が入りました。早速、小川君に声をかけ、熊学ボート部復活のために一緒に指導にあたることになりました。さらに運命的だったのが、その1年後2006年の全国高校総体(インターハイ)の会場が瀬田だったんですよ。是が非でも「日本」をと目標に掲げ、思いを持って臨んだ滋賀インターハイでしたが、見事に男子が全国優勝を果たしてくれました。1年前散々な負けレースをしていた教え子達が、翌年に自分が学生時代を過ごした瀬田で全国優勝を果たしてくれたことは本当に嬉しかったです。私自身も初めての全国制覇を経験し、熊学ボート部にとっては2回目のインターハイ優勝。男子は1987年の北海道インターハイ以来ずっと勝てていなかったので恩師への恩返しも含め、本当に素晴らしい優勝となりました。この時のメンバーの一人、園田真大君が同志社に進学し、後に主将を務めてくれました。ここでひとつ話しておきたいことがあって、私の大切な後輩田中範興君のことです。皆さんご承知の通り、1997年8月8日、同志社大学ボート部にとって大きな事故を経験し、大切な命が亡くなりました。事故当時、私は4年生でしたが、田中君は私の3つ下になります。彼は将来、教育の分野に携わりた



て過ぎましたが、期待以上の成績を収めてくれました。個に応じて指導者も常に変化する意識が大切だと感じています。日々、若い世代から学ぶことは多いです。――現役部員へ伝えたいことはありますか。内藤 我々の時代に比べると、艇の数も増え、トレーニング環境も良くなっていると思います。まずはその環境や周りの人に対して普段から感謝の気持ちを持つことがとても大事だと思います。あとはその環境に甘んじず、自分自身で気づいて動ける人間じゃないと絶対強くはなれないと思うので、支えてくれる方々への感謝と気配りのできる思いを持った人に成長してもらいたいです。「応援される選手、応援されるクルー、応援されるクラブ」をぜひ心掛けて欲しいです。同志社ボート部のファンを増やしましょう。

部員が多い分、なかなか同じ矢印を向くことは難しいかもしれませんが、しっかりとしたビジョンを共有し、数を力にして、全国のロー



言っていて、よく話をする機会がありました。数少ない教職に就くOBとして、彼の分まで頑張らねばという思いを持ち続けています。

私の就任と同時にコーチの小川君が熊本に配属になったこと、瀬田での全国優勝、彼が何か後押しをしてくれたような気がしてなりません。毎年GWの朝日レガッタには出場するのですが、生徒たちと瀬田川を訪れ安全について考える機会にしています。当時を知る一人としてボートの指導者として、これからも安全については肝に命じていきたいと思っています。――当時の部員の方と今も交流はありますか。内藤 自分は転勤もなく、ずっと九州にいるのでとても寂しいんですよ(笑)。

個性強めの同期のみんなとはLINEグループを通じて近況報告があったりしてます。同志社ボート部のことも話題になりレース観戦の報告もあつたりします。なかなかみんなが集まる機会はありませんが、集まれるメンバーで集まる機会があると合宿所生活に戻ったようであり楽しいです。また熊本の地震の時は、当時のチームメイトからも多く

イング関係者をあつと驚かせるレースを魅せてほしいです。

最後に、高校の指導者(教師)として活躍してくれる人材が出てきてくれることも期待しています。

――熊本学園大学付属高校の教え子たちにメッセージをお願いします。

内藤 何もフレッシュャーは感じなくていいけど、自分たちで考えて動き、そしてローイングを楽しむということを高校の時には伝えていたので、もっとそのことを表に出してリーダーシップをとって頑張ってほしいです。

高校での経験がマイナスの面にも働くことがあるかと思いますが、ちょっとした自分の弱さに流されず、前向きな熊学らしさを発揮して同志社ボート部をもっと強くしてほしいと思っています。

――これまで、たくさん競技者を見てきて感じる強い人の共通点とはズバリ何ですか。内藤 「負けず嫌い」というか「打たれ強さ」を持ったタフな選手。共通するのは「心のあり方」なのかなと思います。競技をやっていると当然良い時もあればうまくいかない時もあるだろうし、思いがけず足を引っ張られることもあるでしょう。また、チームスポーツでは、いろんなポジションを担うこともあると思います。ボートの場合はシングルからエイトまでありますね。どこでもやれる！という自信をもつことは大切。

「考え方ひとつで結果は変わる」、そういうポジティブなマインドを持つ選手が最後は強いなと感じます。



落合 多分、1、2年生の頃は同期の中でも一番ボートのことを考えていたと思います。海外の選手の動画を見て、直接DMを送って教えてもらったりしていました。自分はどこに行っても、新しいことを始めるときは一番最初を一番大事にされていて、最初頑張った分、一緒に始めた人よりもひとつ上のステージに登れると思っています。一番最初がとにかく肝心で、みんなと同じことをしていても一緒に上がっていくだけなので、最初とにかく頑張ってひとつ上のステージに入ること大切にしています。確実に、元いたところよりも情報量が違うので、皆よりも先により多くの技



術を学べるんです。例えば、一番最初にエルゴとか2000Tを引いたらかなりしんどいけど、計測ではない日に自主的に引いて計測の日が一番いい記録を出して、上の艇に乗らせてもらうことを意識していました。そうやって取り組んできたから、1年生の時に未経験で自分は登と磯本の3人とオツ盾出場できたのだと思います。強い先輩と一緒に艇に乗ることで、先輩から技術をたくさん学んで、寮生活の時もずっと自分たちの乗艇動画やプロの動画を見ていました。1年生の終わりに、4回生が乗っている対校の艇のクルーに選ばれて、関東遠征とかに連れていってもらえたのも大きかったと思います。

―当時の寮生活について聞かせてください。

落合 寮生活はとにかく楽しかったです。み

んな仲良かったですし、3ヶ月に1回の引越して部屋のメンバーや環境が変わって、その時々で仲いい人も変わりますし、とっても新鮮でした。日曜日の夜とかは同期でご飯を食べに行ったりしたことも楽しかったです。

一度、紘志さんの奥さんが女子に差し入れを買ってきて下さったことがあったのですが、ダイニングにいた男子がそれを味見するために開けてしまったんです。そしたらそれが女子にばれて怒られてしまって、当時女子部員と交際していた男子部員が男子代表として謝罪動画を撮って送ったこともありました。その動画がとにかく面白いんです（笑）

— コロナ禍での合宿所生活だったと思うのですが、大変だったことや、当時の様子を教えてください。

落合 緊急事態宣言が出ていた期間はそも



そも寮生活ができなかつたんです。唯一、ス

ポーツ推薦が入ってきて、宿舎しか泊まる場所のない2人くらいが住んでいました。生活としては、全く練習できない状態で、しんどいとはなかったですが、することがないので面白くなかったです。学校も全部オンライン授業で

人にも会わないです。一応部活からはメニユーが送られてきて、その計測タイムを渡すなどしていました。緊急事態宣言が終わって少し対面で練習できるようになったら、次は三部制みたいな感じで週を分けて練習を行っていました。1週目はこの班の人が練習、2、3週目はこの班の人が練習、そんな感じだったと思います。そこはあんまり覚えていないんだ。



OB・OGインタビュー

**みんなで楽しみながら、
ボートを好きであってほしい。**

落合 航大 先輩(令和5年卒)

2021年インカレ男子エイト準優勝メンバーである落合航大さんが今年度からコーチとして、再び同志社ボート部に戻って来てくださいました。今回は、未経験からインカレ準優勝に至るまでの過程や、当時の気持ちをインタビューさせていただきました。

《プロフィール》

落合 航大(おちあい・こうだい)

2000年10月12日生(24歳)。滋賀県大津市出身。同志社国際高校(バスケットボール部所属)を経て、2019年同志社大学法学部入学、同年5月ボート部に入部。2020年のインカレではペア5位に入賞し、2022年全日本では付きフォアで6位入賞。2022年インカレでは同志社初のエイト準優勝を果たした。2023年3月、同志社大学法学部卒業。

ーボート部に入部するまでの経緯を教えてください。

落合 自分の代のキャプテンをしていた登と入学式で仲良くなつて、一緒に新歓を回り始めたことがきっかけです。元々、高校まではバスケット部に所属していたので、大学では体育会のバスケットは辞めようと思っていました。だけど、サークルの新歓を回っていたら結構構うるいになって感じてしまつて、それなら体育会をチャレンジしてみても良いと思いました。そんな時に、ボート部の新歓に参加してみたら「日本一を目指します」ってカッコいいことを言っていて、自分も登もそれに憧れて入ることを決めました。それに、スポーツ的には姉も妹もボートを漕いでいたので親近感があったし、ボートという競技を知らずにいたわけじゃなくて元々知っていたので、馴染みやすくはありました。

— 未経験からのスタートだったと思いますが、周りの経験者の方を見て嫉妬するところなどはありませんか。

落合 嫉妬とかは別になかったです。嫉妬とかはないけど、なんだろう、難しいですね（笑）。自分は結構自信家だから、最初からどうせ勝つだろうとは思ってました。でも、それは建前で裏ではちゃんと練習してましたよ。負けたくはなかったので（笑）。あとは、経験者の子にエールやボートのことも聞いたりしました。

― 未経験からインカレ準優勝メンバーになるまで、どのような姿勢で練習に取り組んでいたか、特にどのようなことを大切にしていたかを教えてください。



高木 智弥

TOMOYA TAKAGI

法学部法律学科
徳島県立海部高等学校出身

自分は12月に途中入部したので、普通なら今出川モーションでランニングや体幹トレーニングをするところを、すぐに先輩たちや同期と合流して同じトレーニングをしたのでとてもハードだなと思いました。しかし、頑張って練習について行ったからこそ、この4年間充実した生活を送ることができました。

ボート部の中で、同期や先輩・後輩と共に過ごすことも自分の中で限らない思い出として残りました。練習では厳しくストイックに、プライベートでは楽しく交流を深めたからこそ今の自分ができたのかなと思います。エルゴで自分が思ったような結果が1年ほど出せない時期があり、腐りかけていた時も仲間にも励まされたことで、諦めず練習し、最終的に最後の2000TTでベストを出すことができました。高校時代の陸上部では人数が少なく、同じ競技をしていた人がいなかったのと同じようなことがあればそのまま腐っていたと思います。そのように考えると、人と交流する大切さというのをこのボート部でとても実感しました。社会人になってもこの気づきを忘れず生活したいと思います。



加納 尚

SHOU KANOU

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科
同志社高等学校出身

最高に楽しい4年間でした。日々の練習をやり遂げるのに精一杯で、慌ただしく過ぎ去った4年間でしたが、非常に充実した日々でした。特に記憶に残っているのが寮生活です。1年生の冬に住んだサードは、部屋の電気がほとんどつかなかったですし、夜中3時からハクビシンが暴れ出し、まともに寝れませんでした。また、寝室に窓がなく、非常に寒いにも関わらず、布団の量が足りなかったのも、上着を着て、みんなでくっついて寝ていました。その後、唐橋に引越した時の部屋の明るさ・暖かさは今でも忘れられません。

唐橋は、「毎日が修学旅行」を体現している楽しい寮でした。同じ部屋の同期・先輩・後輩達と、夜にコンビニに行ったり、一緒にゲームをしたり、後輩の恋愛相談を受けたり、一緒にホラー映画を見たりした何気ない日々が最高の思い出です。寮生活を辞めた今、友達や後輩達と一緒に生活できる楽しさを改めて感じています。

これまで支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。周囲の皆さまの存在があったからこそ、しんどい練習を乗り越えて、楽しい4年間を過ごすことができました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



安陵 将太郎

【副将】

SHOUTARO YASUOKA

商学部商学科
清風高等学校出身

ありきたりな言葉にはなりますが、この4年間は多くの人々の支えの中で成長させていただいた4年間でした。

苦しい時、辛い時に導いてくださった先輩
肩を並べて戦ってくれた同期
同じ志を持って入部してくれた後輩

皆さんの多くの言葉や行いが私を救ってくれました。

この部活でなければ出会うことのなかったであろう個性豊かな皆さんと時間を共にできたことはこの部活に所属していた私達だけの宝です。

現役の皆さんは大好きなこのチームで、胸を張って「日本一」とかかげられるよう悔いなくやりきってください。

書き残せないほどの思い出が私の中で生き続け、原動力となっていてこれからの私も支えてくれることと思います。

また瀬田川でお会いしましょう。
幸せな時間をありがとうございました。



青木 優太

【主将】

YUUTA AOKI

法学部法律学科
世田谷学園高等学校出身

まず4年間のボート部生活を終えて、私の大学生活4年間は本当にさまざまな方に支えられた4年間でした。現場で見守っていただいた部長・監督・コーチの方々、多大なるご支援をいただいた諸先輩方、いつも応援に来てくれた保護者の方々、最後までついて来てくれた後輩たち、そして一番近くで一緒にやってくれた同期のみんな、大勢の方々のおかげで僕は悔いのない4年間を過ごすことができました。皆さま、誠にありがとうございました。

私のボート部での4年間はひと言で言えば、出会いの4年間でした。僕は同期たちをはじめとする個性豊かな人たちと出会い、それぞれが持つ固有の価値観に半ば打ちのめされる勢いで、この4年間を過ごしました。そして多くの人たちと出会い、本気でぶつかり合うことで、ここは自分に足りないと思うような学びを得たり、ここだけは譲れないというような自分を確立できたり、今後社会人として生きていくうえで必要不可欠な経験をすることができました。

これは全国各地からさまざまな経験をした人が集まり、本気でボート競技に向き合える同志社ボート部という環境でしか経験できなかったことだと思います。

改めてこの4年間で僕に関わってくださったすべての方と同志社ボート部という素晴らしい環境に感謝いたします。



城 博海

HIROMI JOH

経済学部経済学科
六甲学院高等学校出身

気づいているかもしれませんが、皆さんの代が黄金期になるかもしれません。コロナが明け、監督と高本さんのおかげで人数が爆発的に増えました。経験者と未経験者のバランスも良く100人以上の体制になります。

圧倒的な人数増加のせいで施設のキャパを超えて使いにくいところなどもあるかと思います。国に例えると、高度経済成長期の日本や、インドみたいな感じになっています。部員の経済的な負担も増えるし、人数が多くなればなるほど部の運営も大変になると思いますが、このカオスな状態を制すれば間違いなく日本で一番強く影響力のある部活になります。

今度会った時にみんなが楽しそうにボートを漕いでいて、そのうえで勝利に貪欲な、規律ある組織になっていたら心から嬉しく思います。

自分は現役中何もできませんでしたが、OBとしてできることがあればいつでもお声がけください。ボート部がバルクアップして心技体すべてがマッチョになっていることを切に望んでいます。



多田 悠真

YUUMA TADA

商学部商学科
兵庫県立洲本高等学校出身

まず最初に、この4年間ボート部でお世話になった多くの方々に對して心より感謝申し上げます。ボート部を引退した今、かつてを振り返ると厳しい練習や逆境から何度も挫けそうになったことがありました。しかしながら、その度に私を助けてくれたのはボート部の先輩や同期、そして後輩たちでした。私自身、このボート部で得ることのできた最も大きな財産は「絆」であると考えています。今までを振り返るとインカレでの困難や新歓活動での逆境など、厳かった当時の記憶が走馬灯のように脳裏に蘇ります。決して1人ではこれらの困難を乗り越えることはできなかったと思います。協力できる部員がいたからこそ、成果に結びつけることができたと思うと強く実感しています。あと半年も経たないうちに私たち同期は全員社会人になります。人生のモラトリアム期間とも表現される大学生活が終わりを迎え、私たちは重い責任や義務を伴う社会人生活を送ることとなります。将来いかなる困難に直面したとしても、ボート部で培った「絆」を忘れることなく、社会で活躍できる「大人」になりたいと思います。最後に重ね重ねにはなりますが、ボート部でお世話になった多くの方々に厚く御礼申し上げます。



清水 彩夏

【主務】

SAYAKA SHIMIZU

社会学部メディア学科
山梨県立吉田高等学校出身

この同志社大学ボート部での3年半は私にとって宝物となりました。先輩同期後輩、多くの方々との出会い、日本一という目標に向かってひたすら励んだ日々、すべてが私の血となり肉となっています。

入部した当時は女子漕手の経験者がおらずまた2回生時は人数がとても少ない、なかなか成績を残せないという難しい時代もありました。しかし現在は女子漕手の人数も増え、そして日本一を2度も獲得することができ、最後の年に今までの苦労が報われた、頑張りが認められたような気がしました。

この同志社大学ボート部に新たな歴史を刻めたこと、またその中心にいたることができたこと大変光栄に思います。私を支えてくださった方々、また今まで出会ったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



高島 大介

【副将】

DAISUKE TAKASHIMA

経済学部経済学科
新潟第一高校出身

最初に申し上げたいことは同志社大学ボート部に関わるすべての皆さまに感謝申し上げます。4年間を振り返ってみるとたくさんの経験をさせていただき、すべて書き上げたら小説が出来上がってしまうほどです。ただひとつ言えることがあります。それは愛し愛された4年間だったです。私は新潟出身で大学入学を機に京都に上洛してきました。当時、初めての一人暮らしとコロナの外出制限により孤独を感じ新潟に帰りたいとまで思いました。ですが新歓でのボート部の熱い勧誘、先輩方の優しさを受けボート部に入部そこから人生が一変しました。毎日隣に誰かいて、私が主人公かの応援してくれて、寮生活で衣食住を共にすることで私自身がなんであるかを見出し、相手のことを考え行動できる共感力を身につけることができました。辛い練習の日々で一度休部をさせていただきましたが、支えてくださる先輩方、同期、後輩の顔が浮かび上がり、また部活に参加し、こうして4年間やり遂げることができました。同学年の中でボート部に所属できた私は一番学生生活が充実した自信があります。思うような結果はなかなか出せませんでしたがこのボート部が大好きです。ありがとうございました。



杉江 真由子

MAYUKO SUGIE

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科
同志社香里高等学校出身

4年間、本当にありがとうございました。ボート部に入学してから、大切な仲間に出会い、貴重な経験を通じて多くのことを学び、成長することができました。この4年間は人生においてもかけがえのない時間でした。楽しかったこと、嬉しかったこと、そして時には辛く、悲しかったことも含めて、すべてが私にとって大事な宝物となっています。

マネージャーとして部員を支える立場にありながら、私自身も多くの人たちに支えられてきたと実感しています。同期のみんなと共に戸田で引退を迎えることができたことは一生忘れられない思い出です。

最後になりますが、監督やコーチ、OBOGの皆さま、そしてボート部を通じて関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。また、現役の皆さん、直接ご飯を作ったり、ビデオを撮ったりといったサポートはできませんが、これからは皆さんの活躍を遠くから応援しています。どうか体調に気をつけて、これからも力強く前進してください。皆さんの輝かしい未来を楽しみにしています！



石山 優実

YUUMI ISHIYAMA

現代社会学部社会システム学科
比叡山高等学校出身

私は1回生の冬に途中入学しました。最初は不安もありましたが、温かく歓迎していただき、大学生活における居場所を見つけることができました。

生まれも育ちも滋賀ということもあり、馴染みのある地でボートという素晴らしい競技に出会えたことを嬉しく思います。

ボート部にはボート部でしか経験できないことや人との出会いがたくさんありました。マネージャーとして栄養・遠征の仕事を任せていただき、苦悩もありましたが、いつも仲間を支えられ乗り越えてくれました。日本一のマネージャーになれて本当に嬉しいです。すべてが大切な思い出です。OB・OGの皆さまには多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



落合 陽乃花

HONOKA OCHIAI

グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科
滋賀県立彦根東高等学校出身

現役生活を通じて、大変お世話になりました。

当初、ボートを続ける気持ちは全くありませんでしたが、今では同志社大学ボート部に入学したことに一切の後悔はありません。ダイニングでの恒例行事だった皿ジャンやクリスマスパーティー、新歓、部内旅行、そして寮生活。すべてが私にとってかけがえのない思い出となりました。留学後に復帰した私を温かく迎えてくれた皆には感謝しかありません。ボート部に戻ったことを心の底から良かったと思っています。

世界一嫌いだっただエルゴや、結果が思うように出せずに辛かった日々も、仲間の支えがあったからこそ最後までやり切ることができました。ボート部での経験を通じて、諦めないことや挑戦することの大切さを学び、仲間の存在の大きさを実感しました。そして、全員で勝利を目指す瞬間の胸が熱くなる感覚は何にも代えがたいものでした。

4回生最後の大会で優勝し、笑顔で締めくくれたことは一生の宝物です。これまで支えてくださったすべての皆さま、ありがとうございました。



福味 孝太郎

KOUTARO FUKUMI

心理学部心理学科
熊本県立済々黉高等学校

2021年3月8日、かつこいいからとわざわざスーツを着て、ローバーに向けて地元の熊本を発ちました。記念すべき入寮の日です。それからしばらくは、地元から遠く離れた場所での暮らしに慣れず、部活の練習も想像以上にハードで、かなり疲弊していました。正直辞めたいと何度か考えました。しかし、そこで諦めると後悔しそうな気がしていたので、諦めませんでした。それから辛い経験はありましたが、数えきれないくらいの楽しい経験もあり、気付けばボート部での生活は終了していました。本当に充実していた4年間だったからこそ、あっという間に感じられるのだと思います。最後までやり切って良かったです。また、ボート部を通じて多くの仲間と出会うことができました。偶然ボート部に居合わせたこの縁を、生涯大事にしていきたいと思っています。

共に過ごしてきた先輩、同期、後輩はもちろん、日頃から支えてくださった監督、コーチ、OB・OGの皆さまには、大変お世話になりました。今後は自分も支える側に立ち、後輩たちが同志社ボート部で充実した日々を過ごし、素晴らしい戦績を残すことに、少しでも関わると幸いです。



山内 聖良

SEIRA YAMAUCHI

現代社会学部社会システム学科
奈良県立奈良北高等学校出身

4年間ありがとうございました。

先輩方に惹かれて入学し、初めてサポートという立場を経験しました。目に見えて結果に繋がることはありませんが、それ以上に大きなものを得て、マネージャーとしてのやりがいを感じた日々でした。頑張る源となり、素敵な景色をたくさん見せてくれた部員の皆には感謝の気持ちでいっぱいです。

また、広報という役職を務める中で多くのOB・OGの皆さまと関わらせて頂きました。ボート部という組織は多くの方々を支えて成り立っていることを実感し、広い視野で物事を捉えることの大切さを学びました。幹事会に参加して下さる方々を含め、メールやSNSを通じて温かい言葉をかけて下さるOB・OGの皆さまにも支えて頂きました。

ボート部を通じて素敵な方々と出逢えたこと大変幸せに思います。

最後になりましたが、4年間変わらぬご支援、ご指導をしてくださった監督、コーチ、OB・OGの皆さま、関わってくださったすべての方々に感謝申し上げます。



安田 光希

MITSUKI YASUDA

看護学部看護学科
大阪桐蔭高等学校出身

私は、看護の勉強との両立が難しいと考えていたため、半年以上ボート部への入学を渋っていました。しかし、大学4年間で勉強で終わらせるのはもったいないと感じ、また、自分のしたいことを諦めずに挑戦したいと考え、入学を決意しました。

入学してからは絶対4年生のインカレまでやり切るという決意の元、部活に励んでいました。私がボート部で一番印象に残っている思い出は私が2回生のインカレで2つ上の先輩が引退されたことでした。2回生の夏、部活と勉強の両立の難しさ、サポートをすることの難しさに葛藤し、絶対にやめないと決めた気持ちの裏腹に「もう無理かも」と感じるが多々ありました。しかし、2つ上の先輩方が引退された時、どの先輩方も輝いており、4年間やり遂げた人にしか見えない景色が広がっているように感じました。そして私も最後までやり遂げたいと再度強く思うように感じました。また、4回生のインカレで最後までやり遂げた際に自分の意志を貫いた達成感やたくさんの大切な仲間との出会い、サポートをするうえでのやりがいを得ることができ、本当にボート部に入学してよかったと感じました。

ボート部で学んだことを忘れず、社会人も頑張りたいです。



島村 昂希

KOUKI SHIMAMURA

商学部商学科
熊本学園大学付属高等学校出身

同志社大学ボート部を選んだからこそ、普通の大学生活では経験することができない貴重な日々を過ごすことができました。

4時半に起き、眠い目を擦りながらトレルに向かうと皆がいて、試合で負けて船台に帰っても「よく頑張った」と言ってくれる皆がいて、どんなに疲れてダイニングに入っても笑わせてくれる皆がいて。

当時は何も思わなかった日常こそが私を支えてくれるすべてだったと今になって痛感しています。

日本一のチームを目標に、幾多の挑戦、喜び、そして挫折を通じて、仲間たちと築いた絆は言葉に尽くせないほど大きなものでした。

全力で取り組むことの尊さ、目標に向かう情熱、そして一人では決して得られなかった経験が、私を大きく成長させてくれました。

ここで得た経験、感謝、誇りを胸に、新しいステージでも歩みを止めずに進み続けたいと思います。

同志社大学ボート部での日々は、私の誇りであり、永遠に色褪せることのない青春そのものです。

4年間に渡り私達を支えて頂いたすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



開高 礼香

AYAKA KAIKO

政策学部政策学科
同志社香里高等学校出身

ボート部での4年間は、私にとって挑戦そのものでした。ボート競技や寮生活、4:00起き、全国規模の大会、SNS立ち上げ、新歓立ち上げ等、初めてで埋め尽くされた大学生活。私は、最後の最後にずっと目標にしていた夢の舞台で、大好きな同期後輩と共に戦い、メダルを掴み取ることができて本当に幸せ者です。あの瞬間に今までの生活はこの時のためにあったんだと実感しました。私が思うボート部の良いところは、必ず誰かが居てくれるところです。上手いかずに苦しんでいても、横には一緒にいてくれる仲間がいます。

どうしたら良いかわからない時は導いてくれる先輩や大人がいます。同志社大学ボート部はこういった支え合いのもと、成長できる素敵な場所です。4年間やり切った今、このチームを選び、COXを選択した自分は間違いではなかったと断言できます。

そして、未経験の私を優しく育ててくださった先輩方、見えない所で支えてくださったコーチの皆さま、OBOGさん、そして監督。毎日を笑顔にしてくれた同期、後輩たち。ずっと応援してくれていた家族。

本当に感謝しています。皆が大好きです。これからもボート部の活躍を心から願っております。ありがとうございました。



かい こう まさ なり
開高 将成

- ① 経済学部経済学科
- ② 清風学園
- ③ 164cm / 64 kg
- ④ ボート部
- ⑤ 同志社の勝利に貢献できるよう頑張ります。



おか もと りゅうせい
岡本 琉星

- ① 経済学部経済学科
- ② 城南菱創高等学校
- ③ 168cm / 58 kg
- ④ 弓道部
- ⑤ デカく、強くなります。



あずま こう た ろう
東 宏太郎

- ① 政策学部政策学科
- ② 六甲学院高等学校
- ③ 171cm / 73 kg
- ④ アメフト部
- ⑤ 気合い入れていきます



ご つい ま お
五對 真生

- ① 経済学部経済学科
- ② 智弁和歌山高等学校
- ③ 175cm / 71 kg
- ④ 応援部
- ⑤ 勝ちます



くろ だ りょうすけ
黒田 諒介

- ① 経済学部経済学科
- ② 名古屋高等学校
- ③ 173cm / 67 kg
- ④ サッカー部
- ⑤ 日々精進します。



きのした ゆう と
木下 勇人

- ① 心理学部心理学
- ② 六甲学院高等学校
- ③ 174cm / 71 kg
- ④ アメリカンフットボール部
- ⑤ 今年こそいい結果を残してみせます。



たてやま こう
豎山 航

- ① 法学部法律学科
- ② 鹿児島第一高等学校
- ③ 183cm / 81 kg
- ④ 空手道
- ⑤ 強く、正しく、美しく



そ の だ れい や
其田 怜也

- ① 政策学部政策学科
- ② 大分舞鶴高等学校
- ③ 175cm / 77 kg
- ④ 野球部
- ⑤ 気合いと根性



し みず だいじゅ
清水 大樹

- ① 生命医科学部 医生命システム学科
- ② 滋賀県立彦根東高等学校
- ③ 179cm / 74 kg
- ④ ボート部
- ⑤ 赤鬼魂



なか た だい と
中田 大斗

- ① 経済学部経済学科
- ② 東京都立小山台高等学校
- ③ 171cm / 70 kg
- ④ 野球部
- ⑤ 頑張ります！



で の まこと
出野 真誠

- ① 政策学部政策学科
- ② 滋賀県立草津東高等学校
- ③ 175cm / 82 kg
- ④ 陸上競技部
- ⑤ 勝利に繋げる1年にします。



た なか ひろ と
田中 大登

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 172cm / 69 kg
- ④ バスケットボール部
- ⑤ 頑張ります



ふじ わら あき
藤原 瑛

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 180cm / 80kg
- ④ 陸上部
- ⑤ 高みを目指し続けます



ひら ぎ ゆう た
平城 悠多

- ① 法学部政治学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 178cm / 75 kg
- ④ 剣道部
- ⑤ 文武両道



はっとり よう じ
服部 遥虹

- ① 理工学部 化学システム創成工学科
- ② 滋賀県立膳所高等学校
- ③ 173cm / 71 kg
- ④ 硬式野球部
- ⑤ 勝てる漕手になれるように頑張ります。



きむ ま ひろ
金 真大

- ① 法学部法律学科
- ② 比叡山高等学校
- ③ 161cm
- ④ 水泳部
- ⑤ 全てにおける成長



かな や
金谷 りさ

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 新潟県立新潟高等学校
- ③ 159cm
- ④ ボート部
- ⑤ 1秒にこだわる



ふじ わら はる み
藤原 治己

- ① 理工学部 インテリジェント情報工学科
- ② 智辯学園奈良カレッジ
- ③ 176cm / 67 kg
- ④ 陸上部
- ⑤ 精一杯頑張ります

2025年度

現役部員紹介

①学部学科 ②出身高校 ③身長 / 体重 ④高校時代の部活 ⑤意気込み・ひと言



すず き あら た
鈴木 新汰
【副将・COX】

- ① 商学部商学科
- ② 静岡県立 浜松湖南高等学校
- ③ 174cm / 55 kg
- ④ ボート部
- ⑤ 仰げば尊し



こ じま けい
児嶋 奎【主将】

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 和歌山県立桐蔭高等学校
- ③ 164cm
- ④ ボート部
- ⑤ 不撓不屈

新4回生



おか もと ゆう や
岡本 悠弥【会計】

- ① 商学部商学科
- ② 大阪府立山田高等学校
- ③ 169cm / 68 kg
- ④ バスケットボール部
- ⑤ 最後の1年全力で取り組みます。



にし おか りょう ま
西岡 諒真【主務】

- ① 社会学部教育文化学科
- ② 大阪府立池田高等学校
- ③ 163cm / 67 kg
- ④ アメリカンフットボール部
- ⑤ ラストシーズン部に貢献します。



てら い だい き
寺井 大貴
【副将・漕手】

- ① 社会学部社会学科
- ② 鳥取県立米子東高等学校
- ③ 177cm / 77kg
- ④ 硬式野球部
- ⑤ 見敵必殺



まつ やま
松山 ゆずは

- ① 法学部法律学科
- ② 立命館守山高等学校
- ③ 155.5cm
- ④ 吹奏楽部
- ⑤ 多角的視点



むら さき たける
村崎 尊

- ① 商学部商学科
- ② 熊本学園大学 付属高等学校
- ③ 175cm / 75 kg
- ④ ボート部
- ⑤ 練習練習



なか つか はる と
中塚 悠斗

- ① 商学部商学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 173cm / 71 kg
- ④ 陸上競技部
- ⑤ 今までで一番しんどくて楽しい1年にする



きた はら ら な
北原 礼菜
【体育会本部】

- ① 政策学部政策学科
- ② 奈良女子大学 附属中等教育学校
- ④ 硬式テニス部
- ⑤ 日本一のマネージャーになります！



お がわ もも か
小川 桃佳【力漕】

- ① 社会学部教育文化学科
- ② 同志社高等学校
- ④ バドミントン部
- ⑤ 謙虚に、直向きに頑張ります！



あらかわ まい
荒川 舞
【トレーナー】

- ① 現代社会学部 社会システム学科
- ② 智弁学園高等学校
- ④ 陸上部
- ⑤ がんばります。



あ だち ひろ と
安達 寛人

- ① 経済学部経済学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 173cm / 63 kg
- ④ 卓球部
- ⑤ 1日1日を大切に

新3回生



まつ おか そ ら
松岡 奏空【艇友会】

- ① 法学部法律学科
- ② 親和女子高等学校
- ④ 演劇部
- ⑤ 自分の役割を全うします！



石井 晴也
 ① 社会学部産業関係学科
 ② 関西高等学校
 ③ 171cm / 70 kg
 ④ ボート部
 ⑤ がんば Rowing!



網野 結太
 ① 経済学部経済学科
 ② 広陵高等学校
 ③ 169.1cm / 65 kg
 ④ 硬式野球部
 ⑤ 生活からボートに繋がります

新2回生



尾崎 心哉
 ① 商学部商学科
 ② 草津東高等学校
 ③ 168cm / 65 kg
 ④ 陸上部
 ⑤ 先輩に負けないように頑張ります



奥村 理矩
 ① 商学部商学科
 ② 國學院大學
 久我山高等学校
 ③ 174cm / 75 kg
 ④ ラグビー部
 ⑤ 日々、成長できるように頑張ります。



今林 蒼太
 ① 経済学部経済学科
 ② 滋賀県立守山高等学校
 ③ 175cm / 72 kg
 ④ バスケットボール部
 ⑤ 真面目に頑張ります



上林 汰生
 ① スポーツ健康科学部
 スポーツ健康科学科
 ② 彦根東高等学校
 ③ 170cm / 70 kg
 ④ ボート部
 ⑤ 0.05 秒まで突き詰める



川口 麟太郎
 ① 法学部法律学科
 ② 鶯谷高等学校
 ③ 171cm / 62 kg
 ④ 剣道部
 ⑤ 不撓不屈の精神で頑張ります。



紙屋 千尋
 ① 商学部商学科
 ② 鹿児島玉龍高等学校
 ③ 173cm / 73 kg
 ④ ラグビー部
 ⑤ 心も身体も鋼のように強くなります。



高橋 和博
 ① 商学部商学科
 ② 履正社高等学校
 ③ 171cm / 69 キロ
 ④ 硬式テニス
 ⑤ クリロナのような腹筋作ります



小山 智広
 ① スポーツ健康科学部
 スポーツ健康科学科
 ② 熊本学園大学
 付属高等学校
 ③ 174cm / 69 kg
 ④ ボート部
 ⑤ 初心を忘れず、日々努力します



後藤 聡志
 ① 商学部商学科
 ② 同志社高等学校
 ③ 175cm / 77 kg
 ④ サッカー部
 ⑤ Break through!!



茶円 宥斗
 ① スポーツ健康科学部
 スポーツ健康科学科
 ② 清風高等学校
 ③ 171cm / 67 kg
 ④ ボート部
 ⑤ 清風魂かまします



田中 秀
 ① 法学部法律学科
 ② 愛知県立長久手高等学校
 ③ 158cm / 67 kg
 ④ ラグビー部
 ⑤ 成長します



田中 喜也
 ① 理工学部
 機械システム工学部
 ② 香川誠陵高等学校
 ③ 175cm / 69 kg
 ④ 野球部
 ⑤ 両立がんばります。



藤本 智也
 ① 法学部法律学科
 ② 同志社高等学校
 ③ 172cm / 62 kg
 ④ 陸上競技部
 ⑤ 先輩達に追いつけるように頑張ります



橋本 健希
 ① 商学部商学科
 ② 大阪府立桜宮高等学校
 ③ 173cm / 69 kg
 ④ ボート部
 ⑤ エルゴ頑張ります！



塚口 稔也
 ① 文学部英文学科
 ② 同志社国際高等学校
 ③ 178cm / 81 kg
 ④ バスケットボール部
 ⑤ 来年は絶対インカレ入賞。
 Every cloud has a silver lining.



東野 花
 ① スポーツ健康科学部
 スポーツ康科学科
 ② 福井県立若狭東高等学校
 ③ 160cm
 ④ ボート部
 ⑤ 同志社ボート部女子をさらに盛り上げていきます！



瀬戸口 杏李
 ① 商学部商学科
 ② 熊本学園大学
 付属高等学校
 ③ 164.5cm
 ④ ボート部
 ⑤ 納得いくレースができるように日々努力します。



酒井 美柚子
 ① 文化情報学部
 ② 小松明峰高等学校
 ③ 160cm
 ④ ボート部
 ⑤ 根性だす



高垣 里奈【COX】
 ① 神学部神学研究科
 ② 育英西高等学校
 ③ 153cm
 ④ 無所属
 ⑤ 精一杯精進します。



岡野 佑香【COX】
 ① 文学部文化史学科
 ② 茨城県立
 土浦第一高等学校
 ③ 155cm
 ④ 弦楽部
 ⑤ 常に努力を続け、成長します



福原 彩加
 ① 政策学部政策学科
 ② 愛知県立明和高等学校
 ③ 153cm
 ④ 女子ハンドボール部
 ⑤ 高みを目指して頑張ります。



久保 かざみ【トレーナー】
 ① 法学部政治学科
 ② 桃山学院高等学校
 ④ 家庭科部
 ⑤ 部員がベストを出せる環境を作ります！



河野 珠実【トレーナー】
 ① 経済学部経済学科
 ② 山口県立徳山高等学校
 ④ ソフトボール部
 ⑤ 全力でサポートします



上杉 愛美【トレーナー】
 ① 現代社会学部
 社会システム学科
 ② 大阪桐蔭高等学校
 ④ 吹奏楽部
 ⑤ 頼られる存在になります！



金澤 美咲【栄養・遠征】
 ① 政策学部政策学科
 ② 京都聖母学院高等学校
 ④ 無所属
 ⑤ 美味しいマネ飯作ります!!



上坂 美月【力漕】
 ① 商学部商学科
 ② 同志社国際高等学校
 ④ アメリカンフットボール部
 (マネージャー)
 ⑤ 全力でサポートします！



田谷 凜【トレーナー】
 ① 経済学部経済学科
 ② 雲雀丘学園高等学校
 ④ バスケットボール部
 ⑤ 漕手のみんなを全力でサポートします！



櫻井 美希【艇友会】
 ① 商学部商学科
 ② 市立札幌藻岩高等学校
 ④ 男子バスケットボール部
 (マネージャー)
 ⑤ 精一杯支えます!!



北村 心羽【学連】
 ① 社会学部教育文化学科
 ② 福井県立敦賀高等学校
 ④ 弓道部
 ⑤ 周りの人から頼られるように誠意を持って取り組みます。



加納 侑実【力漕】
 ① 法学部政治学科
 ② 同志社国際高等学校
 ④ バレーボール部
 ⑤ 臨機応変に頑張ります！



渡邊 萌音【広報】
 ① 政策学部
 ② 清教学園
 ④ サッカー部
 (マネージャー)
 ⑤ 笑う門には福来る。笑顔で勝利をサポートします！



寺島 美尋【広報】
 ① 政策学部政策学科
 ② 大阪府立北千里高等学校
 ④ バレーボール部
 ⑤ 充実した日々と共に頑張ります！



まつうら
松浦 はるな
【マネージャー】

- ① 商学部商学科
- ② 同志社高等学校
- ④ 女子バレーボール部
- ⑤ チームに貢献できるよう、精一杯頑張ります！



こばやし はるな
小林 春菜
【マネージャー】

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社高等学校
- ④ 陸上部
- ⑤ 何事にも全力笑顔で頑張ります。



きだ みづき
木田 海月
【マネージャー】

- ① 文学部英文学科
- ② 小林聖心女子学院高等学校
- ④ 陸上部
- ⑤ 全力でサポートします！



やまぐち えま
山口 依真
【マネージャー】

- ① 経済学部経済学科
- ② 福岡大学 附属大濠高等学校
- ④ 新聞部・華道部
- ⑤ 日本一のマネージャーになれるよう日々精進します。



おばた ひより
小畑 日和

- ① 薬学部医療薬学科
- ② 同志社高等学校
- ③ 162cm
- ④ 硬式テニス部
- ⑤ 良い影響を与えられるメンバーになるよう頑張ります！



おおた こはる
太田 小遥

- ① 表像文化学部 日本語日本文学科
- ② 備前緑陽高等学校
- ③ 160cm
- ④ ボート部
- ⑤ この4年間で絶対に日本一になります！



よしだ はるおみ
吉田 陽臣

- ① 文学部英文学科
- ② 岡山県立 倉敷天城高等学校
- ③ 171cm / 77kg
- ④ サッカー部
- ⑤ 心身を鍛える



こばやし のぞみ
小林 希実

- ① 表象文化学部 英語英文学科
- ② 横浜市立 横浜商業高等学校
- ③ 155cm
- ④ ボート部
- ⑤ ひとつでも上を目指して日々精進します。



きむら みさき
木村 心咲

- ① 政策学部
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 160cm
- ④ 水泳部
- ⑤ 日々成長できるよう、精一杯頑張ります。



かわい ひでか
川合 秀佳

- ① 社会学部社会福祉学科
- ② 静岡雙葉高等学校
- ③ 160cm
- ④ ミュージカル部
- ⑤ いつも明るく元気よく、自分に克つ！！



まき
牧 ひなの

- ① 政策学部政策学科
- ② 西京高等学校
- ③ 160cm
- ④ 陸上競技部
- ⑤ 自分に厳しく頑張ります。



ほりうち ゆう
堀内 優

- ① スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科
- ② 山梨県立 富士河口湖高等学校
- ③ 164cm
- ④ ボート部
- ⑤ 勝てるように頑張ります！



こしい おのどか
小椎尾 和花

- ① 心理学部心理学科
- ② 延暦寺学園 比叡山高等学校
- ③ 160cm
- ④ 柔道部
- ⑤ 多くのことを吸収し、毎日成長していけるよう頑張ります。



やぶた ほのか
藪田 萌乃香

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社香里高等学校
- ③ 158cm
- ④ ダンス部
- ⑤ 何事も一生懸命頑張ります！



やっしげ まな
ハツ繁 茉奈

- ① 文学部文化史学科
- ② 大阪国際高等学校
- ③ 160cm
- ④ バレーボール部
- ⑤ 地道に努力します



みとま うたは
三苫 詩葉

- ① 社会学部メディア学科
- ② 滋賀県立膳所高等学校
- ③ 169cm
- ④ ボート部
- ⑤ 強くなります



いそ べ
磯部 ひかり
【トレーナー】

- ① 法学部法律学科
- ② 愛知県立昭和高等学校
- ④ バスケ部
- ⑤ 精一杯サポートします。



たむら はじめ
田村 元 [COX]

- ① 理工学部 機械システム工学科
- ② 京都市立堀川高等学校
- ③ 165cm / 53kg
- ④ ボート部
- ⑤ 勝ちきれぬCOXになる



いわなが あみ
岩永 歩 [COX]

- ① 現代社会学部 社会システム学科
- ② 大阪府立桜宮高等学校
- ③ 155cm
- ④ ボート部
- ⑤ 日本一のCOXになれるよう頑張ります！！



とくしま かりん
徳島 花梨
【トレーナー】

- ① 法学部法律学科
- ② 同志社香里高等学校
- ④ 無所属
- ⑤ 日本一のトレーナーになります



くわ た あかね
桑田 明音
【トレーナー】

- ① 政策学部政策学科
- ② 同志社香里高等学校
- ④ 少林寺拳法部
- ⑤ 全力で楽しみながら頑張ります！



かんぎ みと
神崎 美都
【トレーナー】

- ① 政策学部
- ② 同志社香里高等学校
- ④ バレーボール部
- ⑤ 毎日笑顔で頑張ります！！





コーチ

小原 隆史

艇友会の皆さま、いつもご指導ご支援あり、ありがとうございます。部員の生活や安全面の管理指導を担当するH3卒小原と申します。

ここ数年、部員数・戦績共に全国トップクラスの健闘を見せてくれている部員たちは、本当によく頑張ってくれていると思います。

一方で、私の管轄である生活態度や練習時の安全対策については、「地域で暮らす意識」と「安全が最優先意識」の啓発に努めています。

若さ故に羽目を外した時や、乗艇メニューに集中していて事故を起こしたことを、その都度振り返ることで、学生自身が気づき改善、成長していけるサポートを心掛けています。

「解放と節制」、「強化と安全」は相反する意識ですが、ここをどうコントロールできるかが、ボート部生活に打ち込んだことで得られる、真の価値かもしれません。

彼らの今後の社会人生活の中で貴重な体験となれるように、まずは私が精進します！



コーチ

田井 哲朗

平素よりボート部へのご支援・ご協力、誠にありがとうございます。

昨年は他団体との混成クルーでのエイト挑戦や、全日本選手権・インカレ優勝等で女子部がフィーチャーされることが多かった一年かと思います。男子のインカレM2-3位をはじめとして、並大抵の結果でないにも関わらずその陰に隠れてしまった活躍も多いですが、その活躍の一つひとつが彼らのたゆまぬ努力の成果であり、皆さまの支援あって成り立つものであることを忘れないようにしたいと思います。

対校だけが強い組織というのはありえません。大きな成果の下には個人の小さな成功体験が積み重ねることが必要です。また、ボートが早く漕げるようになるだけでは組織としての存在意義がありません。互いを想い考動することが勝利への第一歩だと信じています。

引き続きチーム全体の地力と個人個人の人間力を引き上げるべく活動していく所存です。

皆さまも温かい目でチームを見守っていただければ幸いです。



コーチ

堀田 裕希

OB・OG、そして保護者の皆様、いつも多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今年度は、全日本選手権で軽量級女子ペアが優勝、インカレでは女子クォドルプルが優勝など女子漕手の活躍が非常に目立ちました。年末のエルゴ2000mTTでも女子漕手のほとんどが自己ベストを更新するなど成長が著しく、次年度の活躍も十分に期待できる結果となりました。一方で、男子はインカレでペアが3位と女子と比較すると少し物足りない結果となりました。

冬季のトレーニングでは男子の奮起に期待し、厳しいトレーニングを積んでいく予定です。男子が意地を見せ、活躍を見せてくれることでしょう。

引き続き、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

コーチング スタッフ紹介



同志社大学体育会
ボート部 部長

志賀 理

いつも艇友会の皆さまには、ボート部の活動のみならず、現役部員の就職活動や安全対策など、いろいろな側面から温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年1月に本学体育会ボードセイリング部の学生が練習中に亡くなるという痛ましい事故がありました。同じ琵琶湖で共に練習に励む仲間として、深い悲しみを覚えます。ボート部も28年前に部員を亡くしており、その事故を教訓として、艇友会の皆さまによって安全管理対策が講じられ、それ以降、重大事故は発生しておりません。しかし、今回の事故を受けて、武田監督を中心に、再度、安全対策を確認し、部員達と共有されております。

最近のボート部の戦績は輝かしいものがあります。しかし、これから輝かしい人生を歩むであろう若い命を決して失ってはなりません。そのためにも、艇友会の皆さまには、今後ともなお一層のお力添えを賜りますことをお願い申し上げます。



監督

武田 知也

2024年シーズンは女子の大活躍と男子の成長が見られた年になりました。女子は創部13年目にして目標としていたクォドルプルの優勝を予想外に早く達成することができました。男子はコロナ禍の底を脱し、1回生、2回生中心に成長が見られます。数年内にはまたエイトの決勝に戻ってくることができると思います。

コロナ後の懸念はすでになくなりつつあり、今年も勧誘活動が奏功して多くの新入生が入部してくれ、さらに活気づいてきました。部員の増加傾向は今後も続くともみられ、艇庫、合宿所のキャパシティを上げ、受け入れ態勢を整えることが急務となっています。

関西ではトップチームとして維持していき、大学選手権での男子エイトの決勝進出、女子クォドルプルでの連覇を目標に据えます。ここまでできたのだから、将来もきっとまだ上昇できる、そう信じて同志社スポーツとボート界の未来を切り拓く存在として部員、指導陣を率いていきたいと思っています。



応援しています！

同志社大学ボート部

I sincerely hope
you succeed.

赤尾税理士・行政書士事務所
<https://www.akao-tax.com>

関東信越税理士会 登録番号149524号
 埼玉県行政書士会 登録番号24131865号

赤尾宣彦（平成15年卒）

〒340-0206
 埼玉県久喜市西大輪1429-3
 E-mail: n.akao@akao-tax.com
 電話: 0480-30-6395
 携帯: 090-9902-1563

OB OGのみなさま 漕縁
 瀬田川でエイトを漕ぎませんか

クラブ会員募集中
WRRC
 ワイルドローバーローイングクラブ

楽しく漕ぎたい方
 コミュニケーション・コーチングのご用命は

96 GrandBisou
 人と輪 株式会社 グランビス 林田 尚之
 nao@grandbisou.jp

「上質の共生コミュニティの場」を創造します！

**KARAHASHI
D E C K**

Specified nonprofit corporation BIWAKO Rowing CLUB
 23-3 Karahashicho Otsu Shiga, Japan, 520-0851



そば 一品料理
 あ 吾 づま 嬢

大津市瀬田1丁目 19-31 TEL:077-545-0011

カフェ・レストラン
アドリア

湖岸道路唐橋下ル TEL:077-537-3355

スケルフォでしか喰えぬパスタがある

第7番
 ナすの赤ワイン煮込みパスタ

今さらならぬ美味しさ
 Beet&Pastaスケルツォ



TEL:077-537-1780
 FAX:077-537-1791
<http://amisada.jp>

あみさだ
 AMISADA

〒520-0851 大津市唐橋町23-1 【瀬田唐橋中の島南側】



コーチ

中野 紘志

いつも誠にお世話になっております。コーチの中野紘志です。

2024年のインカレは、「男子ペアが3位、女子クォードが優勝、女子エイトが混成クルーとして2位」という成績を得ることができました。私自身、インカレでメダルを獲ったことがないため、「インカレでメダルを獲る」ということがどれだけ嬉しいことなのか、幸せなことなのか、その気持ちが全く想像できません。今も羨ましい気持ちでいっぱいです。今回のメダル獲得は、選手の個人的なメダルではなく、その他の選手・トレーナー・マネージャー、OBの皆さまがチーム一丸となって初めて得ることができたメダルだと思っています。有難うございました。

今後とも、より多くの学生がインカレやその他の大会でメダルを獲得できるよう、そしてローイングを通じて「やればできる!」という自分への自信を将来のために身につけられるよう、引き続き頑張ります。今後ともボート部を応援よろしくお願いいたします。



コーチ

中來田 悠介

女子部コーチを担当しております。平成29年卒中來田です。2024年は女子部が大きく躍進する年となりました。2024年の女子の大きな成績としては全日本軽量級のペアでの優勝やインカレのクォドルプルでの優勝という結果を残すことができました。インカレでは出漕クルーの多くが最終日まで残ることができてチーム全体の力も確実に向上しています。インカレでの優勝は女子部創部以来の大きな目標となっておりそれを達成できたこと、しかも女子のフラッグシップ種目となるクォドルプルで優勝することができて、いちOBとしてもとても嬉しく思います。現在の女子部は経験者・未経験者ともに多くの部員が入部してくれて過去最大の部員数となっています。同志社でボート部を選んでくれた後輩達が後悔しないよう、チームの競争力を損なわない範囲で最大限選手全員が活躍できるようサポートを続けていきます。



コーチ

大越 将洋

ここ数年間は諸事情により大きな大会のみスポットでのサポートでしたが、本年度より改めて正式スタッフとして日々のトレーニング時から、リギングや艇・オールなどの機材に対する指導もさせて頂くことになりました大越です。以前より、リギングの良し悪しが漕技や艇速の向上に大きく寄与する、という強い信念をもってサポートや指導に当たって参りました。本年もそこはブレることなく、より精度の高い整備によって機材における不確定要素ゼロを目標に、関西で行われる大会から全日本級の大会までレースのある日の前から現地入りし、ひとつでも上の成績を収めるためのサポートを行って参りました。それに選手たちが応えてくれるように素晴らしい結果を出してくれたのは、自身のボートマン経験においても大きなトピックスとして、記憶に残る1年となりました。来年度も今年度を越えるようなパフォーマンスを出せるよう、選手のサポートに全力を尽くして参ります。



コーチ

落合 航大

3年前までボート漕いでました、落合航大です。まだぎりびちびちの25歳です。

今までの自分の人生では、プレーヤーという立場でしかスポーツに関わってきませんが、そこではたくさんのスポーツの楽しさを誰にも負けないくらい経験してきました。考えまくって試行錯誤しながら前進する楽しさ、みんなが責任を持って自分のやるべきことをやる楽しさ、スポーツそのものの楽しさなど、あげ出したらいっぱいあります。これからはコーチという立場でスポーツに関わらせていただくこととなりますが、できるだけ多くの現役部員のみならずボートの楽しさを共有していけたらなと思っています。

初めてのことでなかなか上手いかないこともあると思いますが、頑張るので部員の皆さま、艇友会の皆さま、ぜひ一緒に頑張らしましょう！強くなる一歩！！



令和6年度 ボート部にご支援いただいた皆さま

いつもご支援ありがとうございます。来年度もよろしくお願い申し上げます。

※敬称略 ※艇友会費を納入いただいた方および寄付金をいただいた方を掲載しています。

名誉会員寄付金

昭和39年卒

中原 克巳

昭和44年卒

山本 克美

洲濱 祐一

昭和40年卒

廣田 恒夫

石本 君夫

昭和45年卒

新井 喜範

高橋 滋

昭和47年卒

横山 基嗣

昭和49年卒

五十嵐 純也

花森 節夫

昭和52年卒

馬杉 淳一

矢島 正恒

昭和53年卒

桶田 英俊

昭和54年卒

木村 俊雄

高橋 正樹

村田 市郎

小笠原 司

藤井 浩

永坂 隆明

小関 隆一

井頭 感

水野 正成

玄道 秀則

桜井 隆大

昭和56年卒

池谷 晋

荒山 元秀

中住 慎一

石田 雄治

内海 久俊

野瀬 正治

昭和57年卒

目片 雅喜

森 保二

林 圭介

林田 尚之

久保 智之

山本 健也

松山 厚志

永野 蔽

小森 進治

和田 学

阿部 和久

松田 弘一

田中 秀昭

高山 一也

明石 逸二

貝賀 俊之

昭和59年卒

米村 康弘

松村 勲

河南 潤治

谷口 幸一

作間 秀樹

松本 収平

昭和60年卒

伊藤 寛

石鍋 寿久

矢野 英明

小森 康充

昭和61年卒

川崎 五代嗣

田中 義力

高下 康治

磯田 秀樹

谷川 真司

中村 俊裕

安田 智雄

安田 克裕

奥谷 勇人

樋口 健一郎

屋久 浩典

藤田 哲哉

志賀 理

昭和63年卒

阿江 克彦

原 一雅

平松 靖之

平成元年卒

関谷 晴彦

石田 政隆

大島 昭子

井上 周一

平成2年卒

朝倉 伸二

石橋 雅信

坂本 竜一

島田 恭典

北村 正樹

配川 隆司

朝倉 優子

喜多 隆博

平成3年卒

乾 健治

小原 隆史

重松 健一

榊原 雅也

佐藤 将人

杉山 伸

津嶋 泰

三上 和彦

安達 祥子

平成4年卒

谷 昌二郎

小林 重之

小田切 拓

加藤 康

功力 英俊

勝本 肇

吉田 拓生

米山 尚吾

平成5年卒

内田 琢也

井上 賢二

平成6年卒

平成7年卒

押領司 哲也

木内 良典

喜多 栄太

竹内 秀暢

中澤 郁男

早坂 真一

藤井 啓宏

堀内 昭宏

松城 敬

平成7年卒

余谷 有紀枝

佐伯 明

伊藤 崇

小吹 悟

藤牧 宏彰

平成8年卒

押谷 菊治

岡本 和彦

木原 聡

小林 賢史

武田 知也

白田 圭助

山川 優

山田 寛幸

渡辺 将常

薄 真理

高橋 彩

吉野 光治

平成9年卒

奥 哲史

藤井 周子

渡辺(尾島) 綾子

平成10年卒

有馬 誠生

石橋 欣也

岩田 勇人

岡前 秀彦

渋谷 一郎

高石 徹

高橋 功

内藤 竜一

古川 顕生

山崎 安雅

平成11年卒

網嶋 雄一郎

中島 千尋

平成12年卒

高橋 輝

若杉 圭

平成13年卒

井口 順太

銭谷 剛志

高橋(津田) 弥紀

平成14年卒

山田 篤

岸本 光洋

平成15年卒

赤尾 宣彦

木口 学

平成16年卒

今東 俊雄

中村 洋太郎

堀内 康武

松尾 智之

村井 亮

平成17年卒

家弓 正史

平成19年卒

角谷 明彦

中村 周作

古矢 礼子

平成20年卒

津村 一平

可児 怜史

平成21年卒

川口 正嗣

瀬川 敏克

有木 良輔

河合 弘貴

川淵 智貴

金野 裕輝

内藤 毅人

平成22年卒

千原 第資

大沼 茂彬

佐藤 男樹

平成23年卒

園田 真大

菊池 修一郎

今関 将太

木下 啓史

森福 将之

福重 太郎

田中 克弥

西本 孝志

池田 ひかる

今井 文美

奥 知里

西岡 成美

平成24年卒

関本(加藤) 駿

中村 康治郎

濱島 昌輝

千原 奈美

平成25年卒

鈴木 直道

中田 幸祐

平成26年卒

池本 雅基

万木 恭介

檜垣 聡志

谷井 沙衣

平成27年卒

日比野 聖司

君和田 剛大

佐藤 拓朗

川村 佳苗

三島 奈々

新垣 彩実

平成28年卒

今富 圭一

中小路 悟

平井 貴大

中小路(有村) 悠

大隅 清貴

葉山 顕祥

政井 克哉

山田 高輝

川野 由季

勝島 愛

平成29年卒

田井 哲朗

中來田 悠介

津田 邦泰

阪 悠樹

平田 耕一

平成30年卒

松本 直弥

星野 夏貴

能勢 政典

阿部 正典

糸魚川 宗志

大森 健太

北野 裕樹

黒田 宗一郎

桑原 康彰

佐武 宏哉

西川 修眞

榎田 颯一郎

松坂 滉

三井 敏匡

宮田 将平

村田 真哉

高瀬 絵留萌

前田 真奈

田口 夕侑乃

令和元年卒

石田 大知

久保 剛

籠重 航

大谷 文則

櫻間 達也

岡本 晃壽

原田 遥大

澤 駿太

未次 真夏

斎藤 暢子

大下 瑞季

園 美沙都

令和2年卒

芦田 一郎

安藤 優作

生駒 宏武

大慈 智哉

大谷 鋭周

大谷 大

清水 諒

神宮 健輔

田川 凌大

中澤 正浩

中村 魁

藤岡 天翔

藤原 嵩

山本 幸之介

藤本 亮

山口 弘人

宇佐見 侑紀

竹本 咲良

福井 彩夏

大田 彩葉

日花 奈々子

福島 沙帆

光田 真美子

毛利 宣子



京阪シルク
京のちりめん
問屋

京阪シルクは和装小物・雑貨・手芸素材の企画開発をしています。
近年は特にちりめんに注力した素材を提供しています。
各種ちりめんと京友禅の融合した伝統美をお楽しみください。

〒600-8108
京都市下京区五条通西洞院東入ル

TEL 075-351-2340
FAX 075-351-4352

www.keihansilk.com/

同志社艇友会の皆さん、そしてボートを愛する全ての皆さんへ



一般社団法人ワイルドローバーローイングクラブ (WRRC) で一緒にボートを漕ぎませんか。昨年は瀬田川での練習と京都レガッタ、琵琶湖レガッタ、ヘッドオブ瀬田、鶴見川大学対抗、等に参戦してマスターズのボートを楽しんでいます。同志社のOBOG以外の方の参加も歓迎です。北海道、関東、関西、全国に仲間がいます。

一緒に漕ぎましょう。お気軽に連絡ください

【連絡先】

林田 尚之(昭和57年卒) 080-6172-1104
メール: fatbob_nao@yahoo.co.jp
石橋欣也(平成10年卒) 090-8346-1574
メール: wmrpt31414840116@gmail.com

営業力強化研修をご提案します！

研修実績: 大阪府庁、東京都庁、キッコーマン、野村證券、大塚商会、日本生命、富士通、NEC、日本経済新聞社、パソナ、大阪ガス、三菱UFJ銀行、ローソン、SMBCコンサルティング、他

小森コンサルティングオフィス 代表: 小森 康充(昭和60年卒)

URL <http://www.giantkevin.com> メール yasumitsu.komori@gmail.com

プロフィール: P&G等外資系企業で20年間の営業キャリア、その後神戸学院大学で客員教授に就任。2009年に営業力強化コンサルタントで独立。現在はビジネス社会の勝利と成功をサポートするため企業研修を年間150回実施している。著書に『スベらない商談力』『リーダー3年目からの教科書』等



編集後記

日頃より同志社大学ボート部に多大なるご支援・ご声援を賜り、誠にありがとうございます。この度、『力漕』第32号の制作を担当させていただきました、新3回生マネージャーの上坂美月、加納侑実と申します。

まず初めに、『力漕』第32号をご清覧いただき、心より感謝申し上げます。また、制作に携わってくださったすべての方々に深く感謝いたします。

私たちは今回、『力漕』の制作という初めての大事業に挑戦しました。最初は迷いながら、悩みながらの作業が続きました。至らない点や粗相があったかもしれませんが、多くのことを学び、貴重な経験を積むことができました。制作の過程では、ひとつひとつの細かい作業がどれも重要であること、お互いに協力しながら進める中で、チームワークの大切さや、ひとつのものを創り上げる楽しさを改めて感じることができました。

また本誌では、現役部員や先輩方にインタビューをさせていただき、皆さまの熱い思いや、試練を乗り越えてきたエピソード、そして時間が経っても変わらずボート部に対する深い愛情を感じることができました。そのさまざまなストーリーが現在のボート部を支えており、私たちが伸び伸びと活動できている理由であります。同志社大学体育会ボート部の大きな絆が、この部誌を通じて少しでも伝われば嬉しく思います。今回、本誌に掲載する部員の写真を選別していますと、どれも良い笑顔をしており、青春を謳歌するとはこのことだと気付かされました。日本一を目指す組織として、苦しいことや衝突も多く経験することと思いますが、この部活に入った理由、自分が何を目指していたのか初心にかえってよく考え、仲間と助け合いたいと思います。

今後も、『力漕』が皆さまにとって思い出深いものであり、また新たな絆を深める場であり続けることを心から願っております。そして、来シーズンも引き続き温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新3回生マネージャー
広報 上坂 美月・加納 侑実

ダブルって、心強い。

生活に大きな影響が出る
ふたつのリスクに備えられる。
ひとつの保険で、ダブルの安心を。



一時金と年金の
ダブルで生活を長期サポート!



 **日本生命**

※ご検討にあたっては、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり一定款・約款」を必ずご確認ください。(登)日本24-800,24/4/1,業務部

NEW

ニッセイ



生活サポート *ダブル*

生活サポート保険



WILD ROVER CREW
DOSHISHA UNIVERSITY

力漕 vol.032

YEARBOOK 2023.11-2024.11 同志社大学 体育会ボート部